

令和 3 年度

男女共同参画に関する市民意識調査

調査結果



東 御 市

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、第2次東御市男女共同参画推進基本計画(令和4年度から令和8年度)の策定にあたり、市民の皆さんの「男女共同参画」に関する意識をお尋ねし、計画策定の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査対象

東御市在住の18歳以上の男女1200人(無作為抽出)

3 調査方法

郵送による配布

郵送、電子申請による回収

4 調査時期

令和3年2月1日～令和3年2月24日

5 回収結果

(1) 回収数(率) 508(42.3%)

6 調査結果の集計・表示方法および数値等の取り扱い

(1) 百分率(%)は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。このため100%にならない場合があります。

(2) 回答の比率はその設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問はその回答割合を合計すると100%を超える場合があります。

(3) 設問においては、回答項目の「その他」に記載欄を設けているもの、および回答理由をお願いしたものがあります。また、「その他」については、一部回答を載せています。

— 目 次 —

調査の概要

調査結果

ご自身のことについて	1
男女共同参画社会に関する意識について	2
家庭生活等に関する意識について	6
旧姓使用等に関する意識について	10
配偶者からの暴力について	11
男女共同参画社会に関する行政への要望について	14
その他	15
ご意見欄 「男女共同参画」について普段感じていること	16

調査票

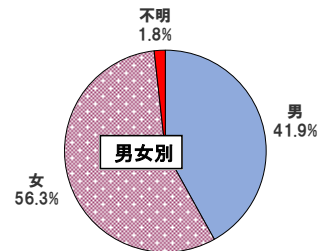
一 調 査 結 果

あなたご自身のこと

あなたの性別を教えてください。

(回答者数 508人)

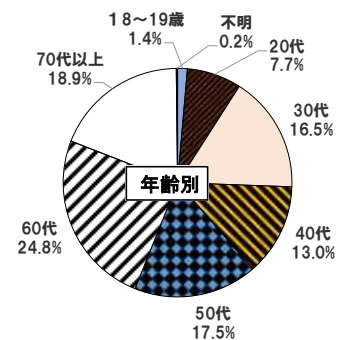
性別	男	女	不明	
	213	286	9	508
			(人)	



あなたの年齢を教えてください。

(回答者数 508人)

年代	18～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
	7	39	84	66	89	126	96	1
							(人)	

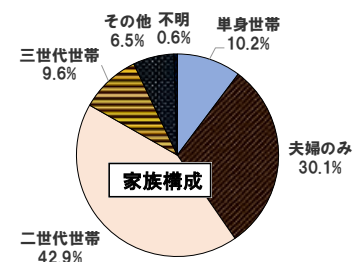


年齢構成については、60代を中心に、70代以上、50代と多くなっている。

あなたの家族構成を教えてください。

(回答者数 508人)

家族構成	単身世帯	夫婦のみ	二世世代世帯	三世世代世帯	その他	不明
	52	153	218	49	33	3
						(世帯)

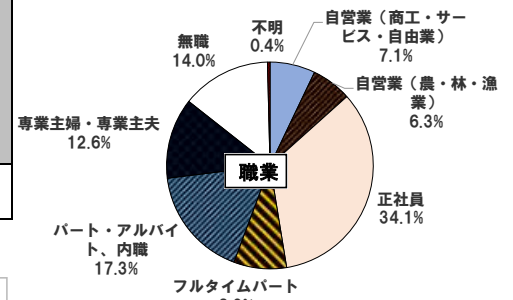


家族構成は、二世世代世帯・夫婦のみが全体の7割を超え、次いで単身世帯、三世世代世帯となっている。

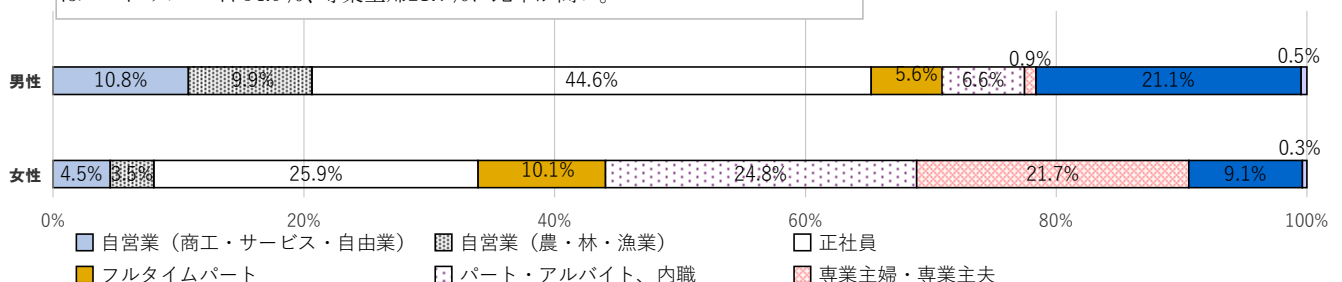
あなたの職業について教えてください。

(回答者数 508人)

職業	自営業 (商工・サービス・自由業)	自営業 (農・林・漁業)	正社員	フルタイムパート	パート・アルバイト、内職	専業主婦・専業主夫	無職	不明
	36	32	173	42	88	64	71	2
							(人)	



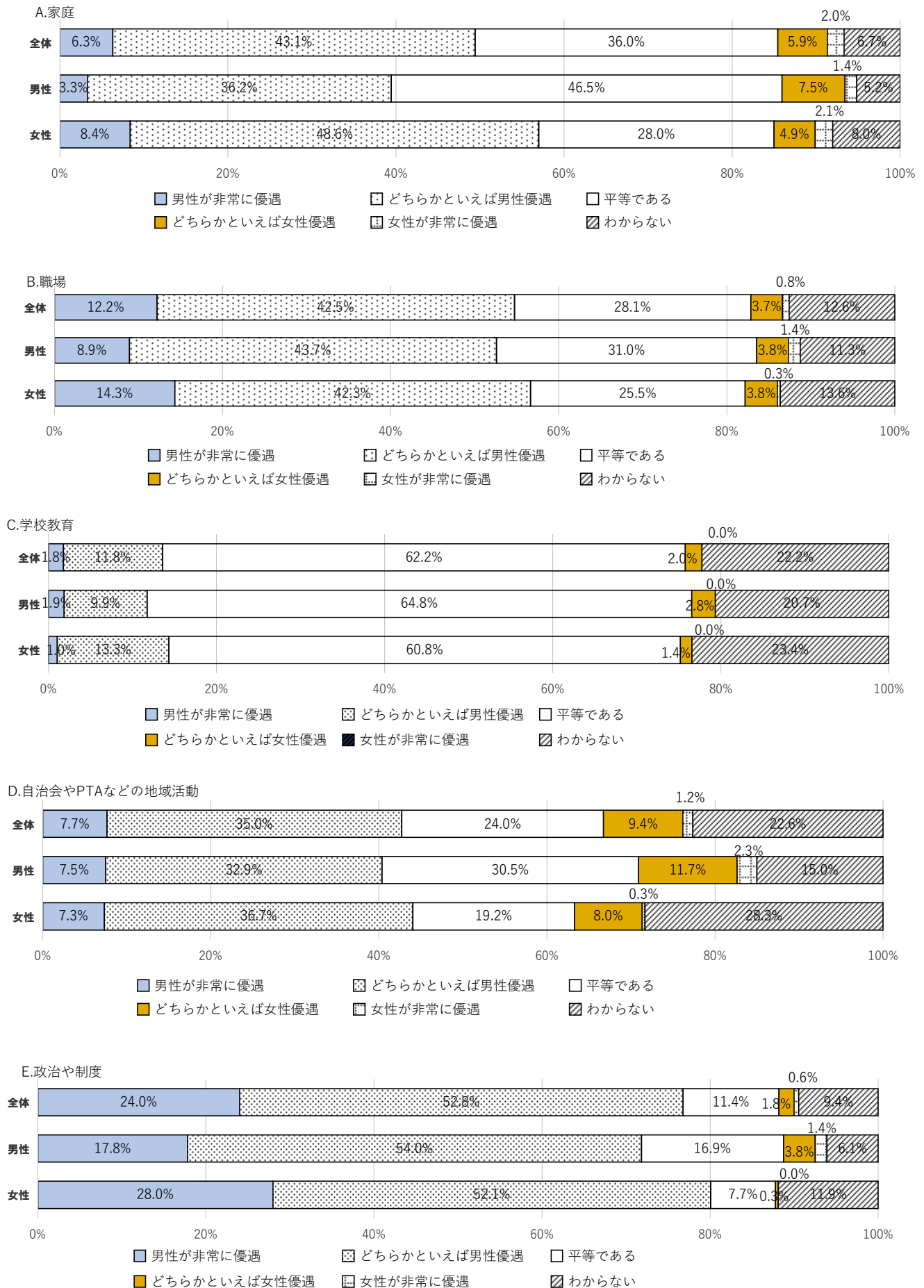
自営業、正社員を合わせると、男性は65.3%に対し、女性は33.9%と低い。また、女性はパート・アルバイト34.9%、専業主婦21.7%に比率が高い。



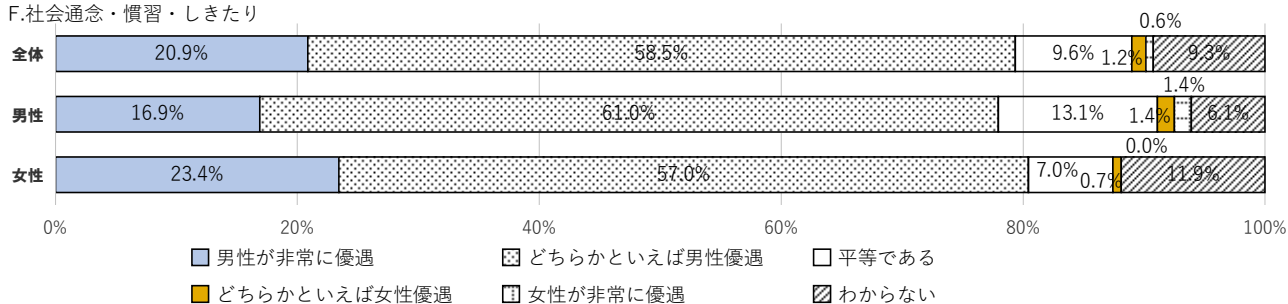
男女共同参画社会に関する意識について

問1 現在、世の中は男女平等だと思いますか。（それぞれ1つに○）

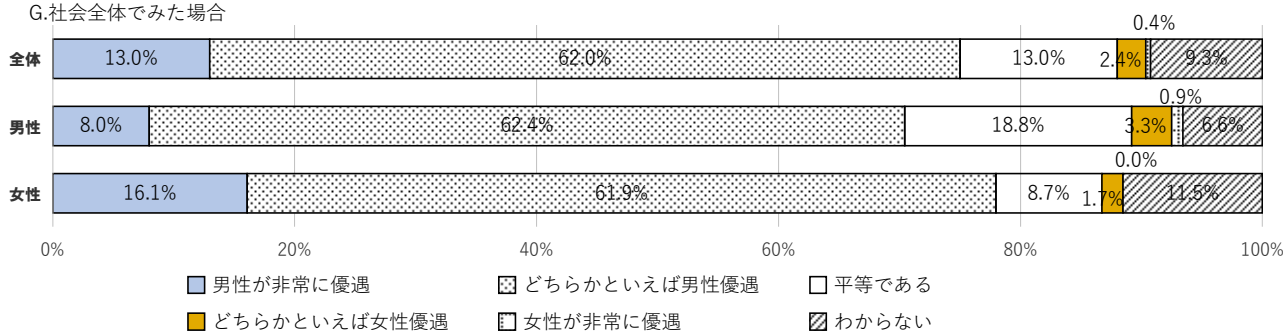
（回答者数 508人）



F.社会通念・慣習・しきたり



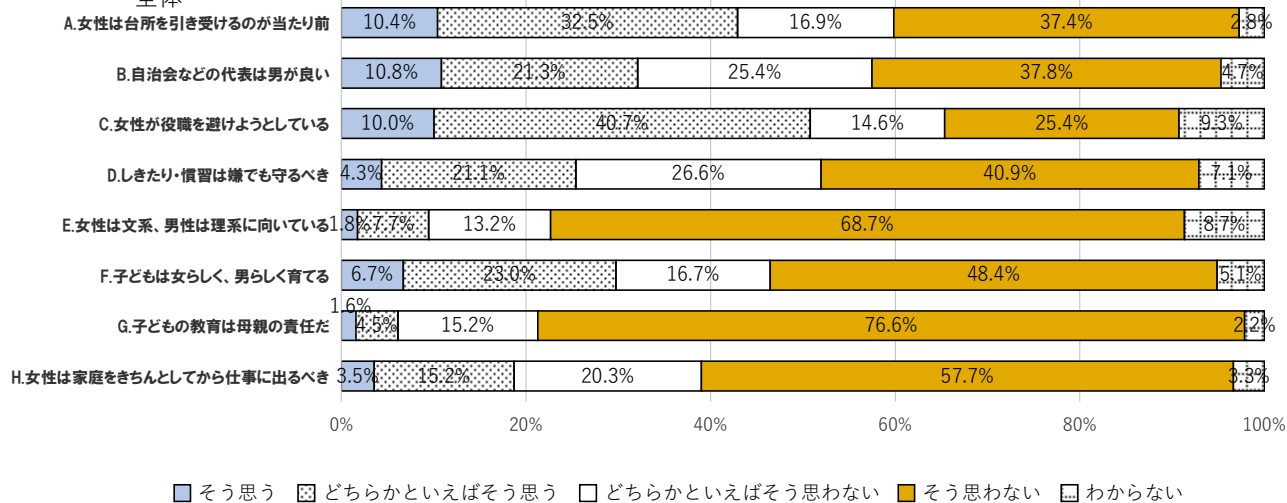
G.社会全体でみた場合



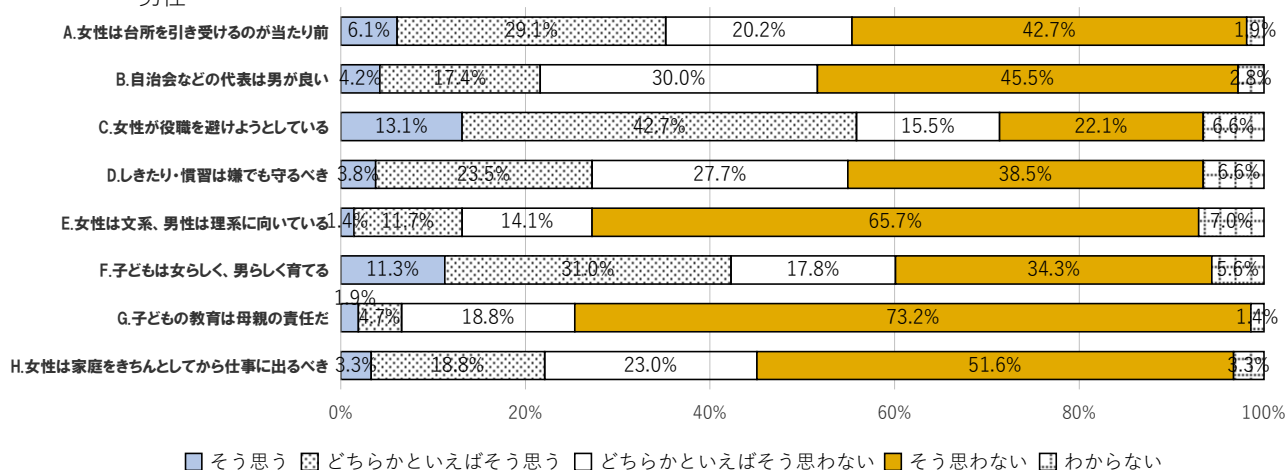
問2 次の事例についてあなたはどのように思いますか。（それぞれ一つに○）

（回答者数 508人）

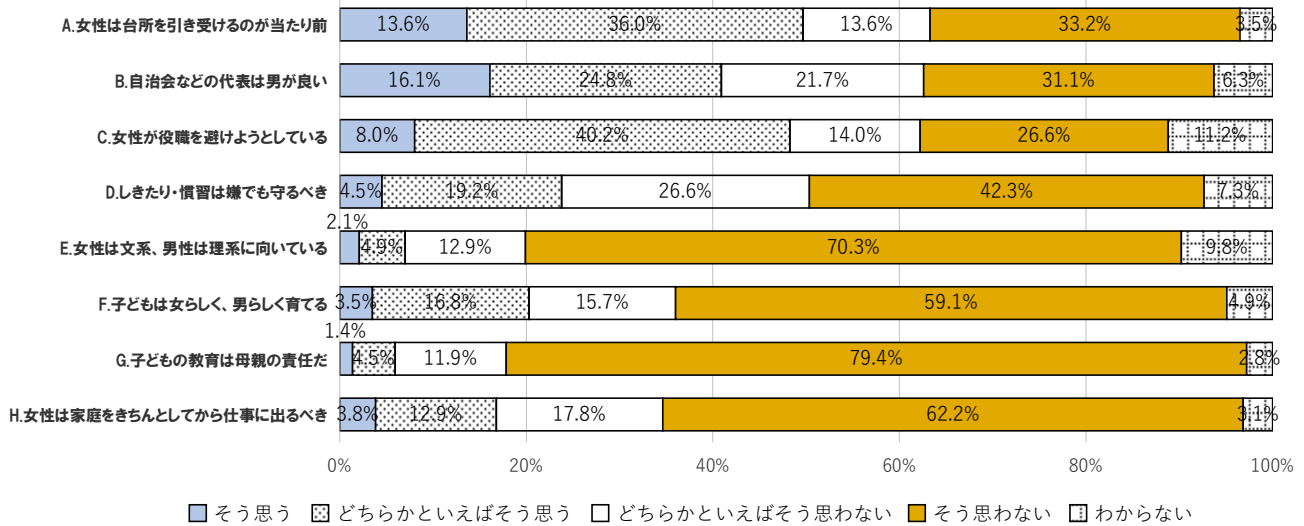
全体



男性

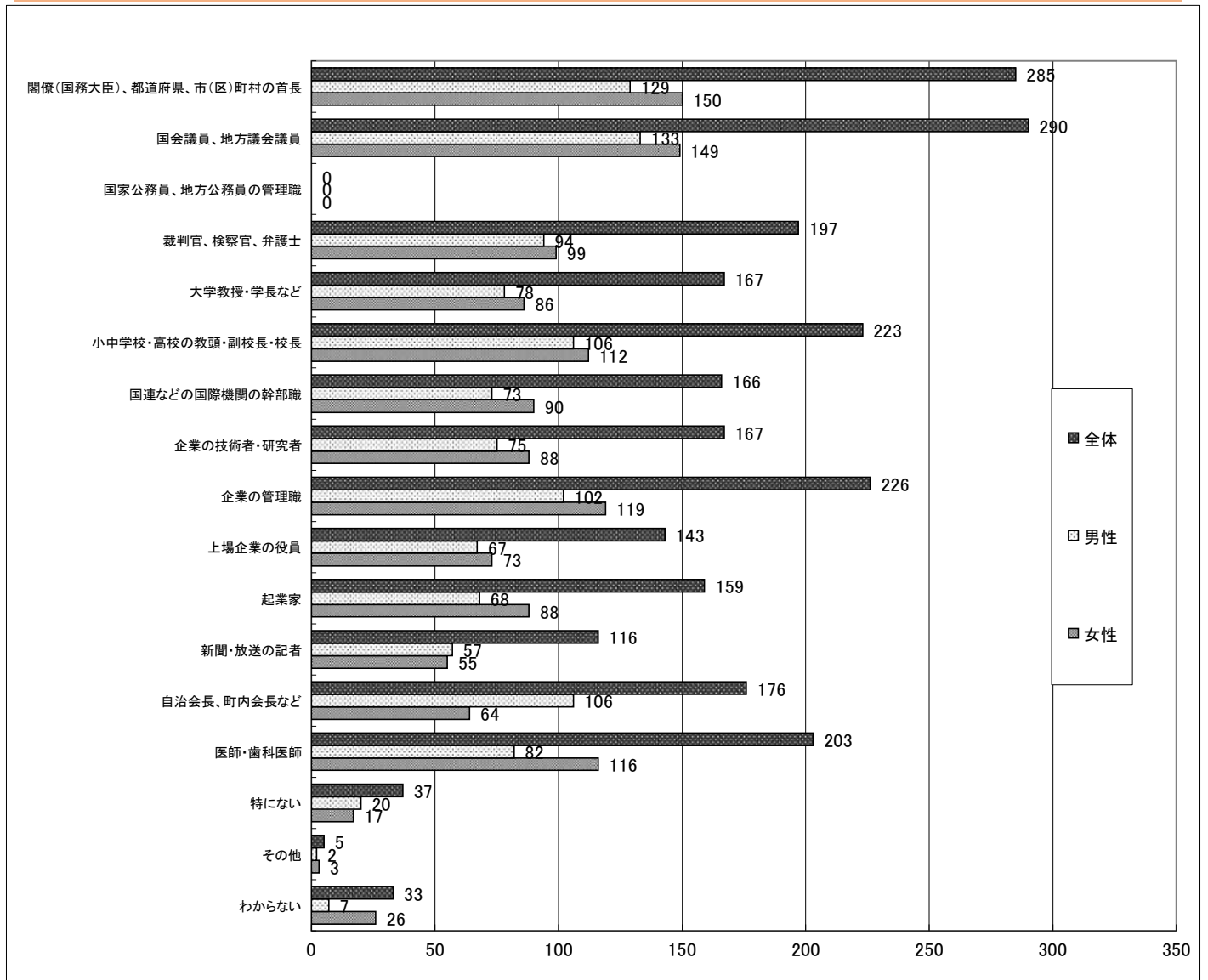


女性



問3 あなたが、次にあげるような職業や役職において今後女性が増える方がよいと思うのはどれですか。【複数回答可】

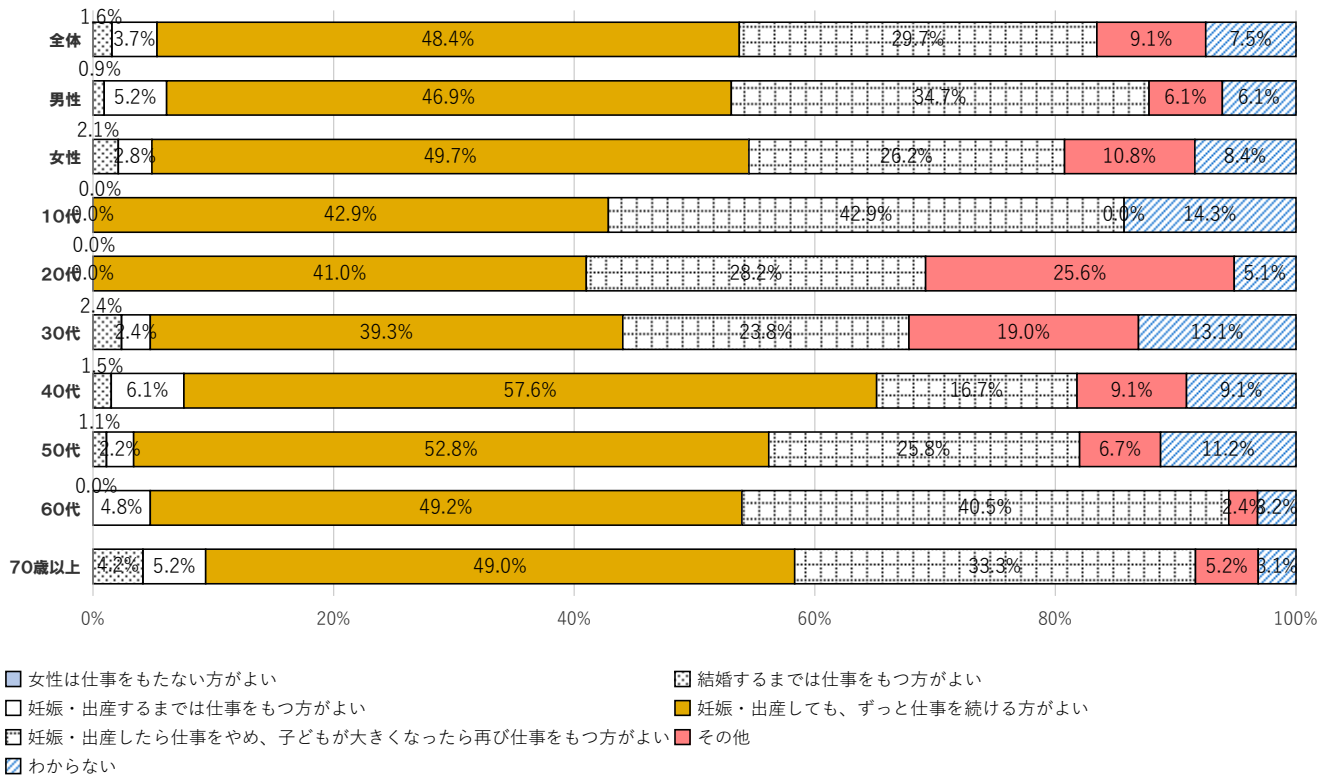
(回答者数 508人)



・その他 地域、団体、市町村の役員等
正規雇用の労働者
すべてにおいて
男女平等の結果として女性が増えるのであって、職種職能ごとの増減を問うのは
女性を役職に登用することも必要と感じないわけではないが、男女問わず、希望すれば意欲や能力が発揮できる
社会をつくっていくことが必要

問4 一般的に女性が働くことについて、あなたはどのようにお考えですか。【一つだけ○】

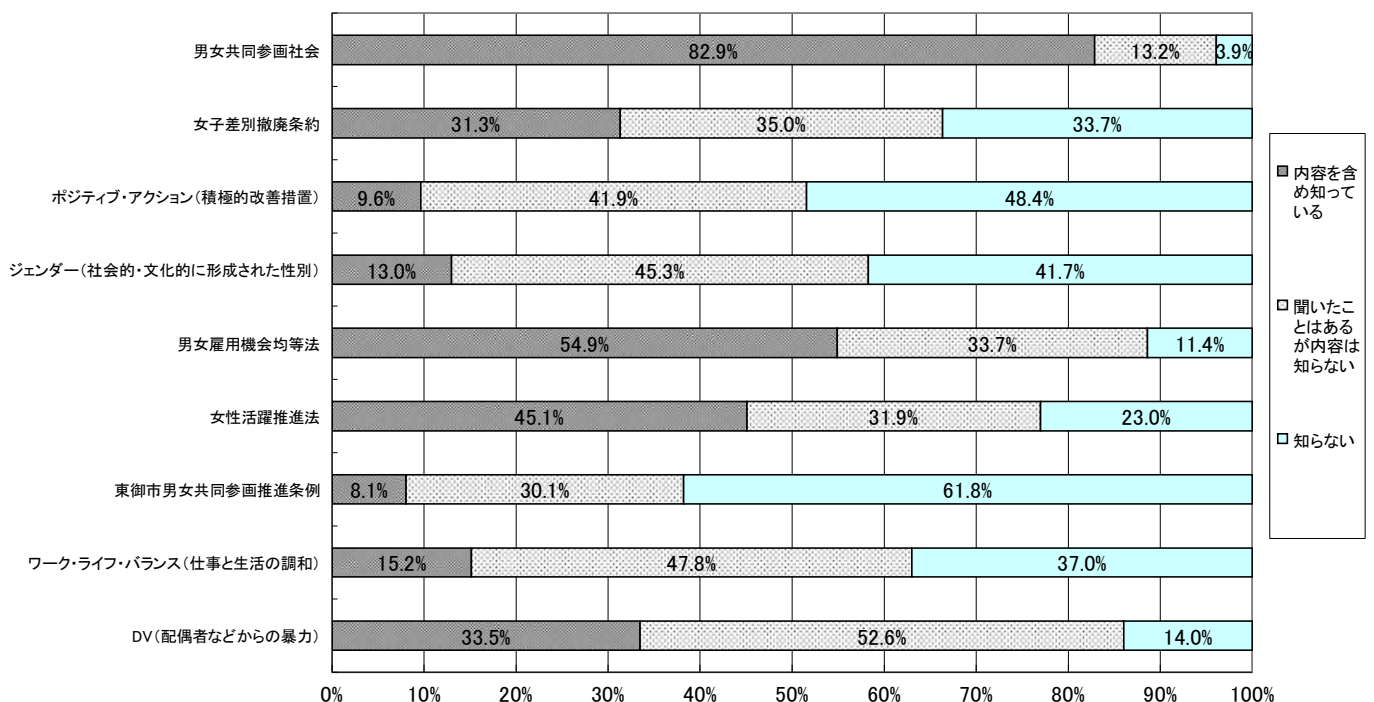
(回答者数 508人)



・その他 各々が自分の素質ややりたいことに合った選択をすれば良い
 家庭・社会等を支える労働者として仕事を続けることは大切。働き方は本人・家族の形態の変化により選択の自由を認めるのが良い
 その家庭の考え方によると思う
 本人の意思を尊重したい
 家事労働など収入にはならない活動、自営業補佐なども立派な仕事であると考えてるので、この設問は不適切であり、回答できない。
 自分の生活に合った選択をすればいいと思います。
 女性だから男性だからと男女で区別するのではなく、それぞれが自分の考えや意志で選択しやすくなるとよい
 女性本人の負担にならない選択ができるような仕組みが良い
 その家庭で決める事。どれだと幸せだと言うことはないと思う
 女性も仕事はするべきだと思うが、妊娠、出産後は個人の希望や考えでよいと思う。ただ、子どもが大きくなったら復職したいと、希望しても、受け入れ態勢がととのっていないと思う。

問5 次の言葉や事柄について、どの程度ご存じですか。【一つだけ○】

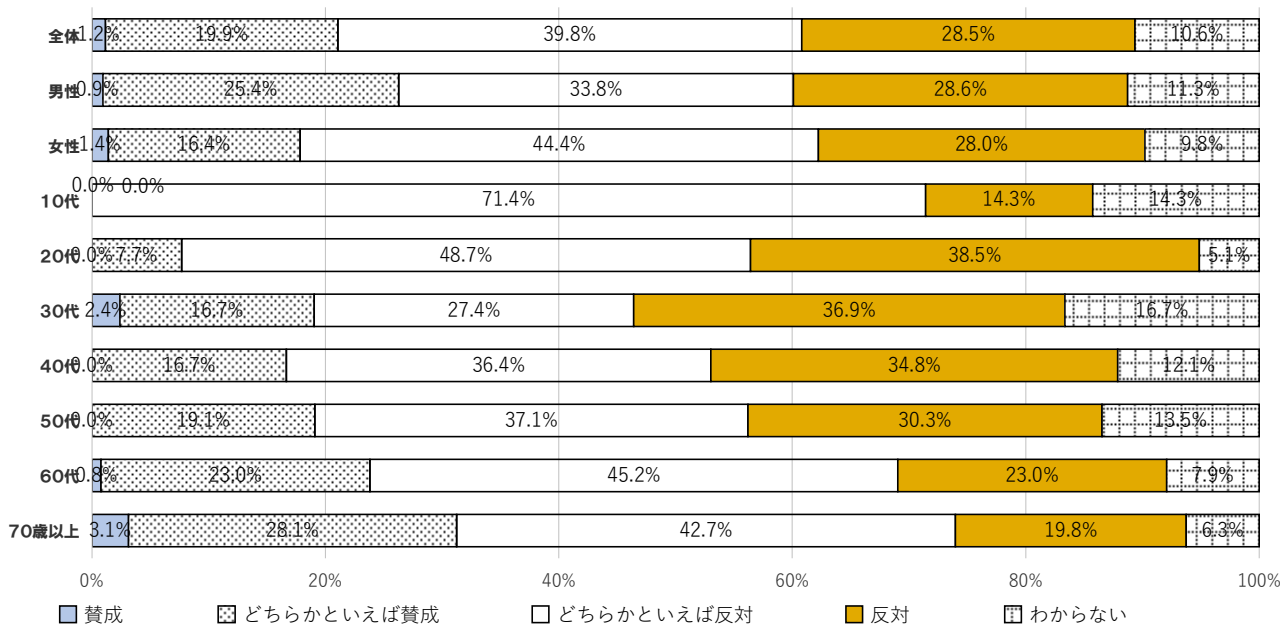
(回答者数 508人)



家庭生活等に関する意識について

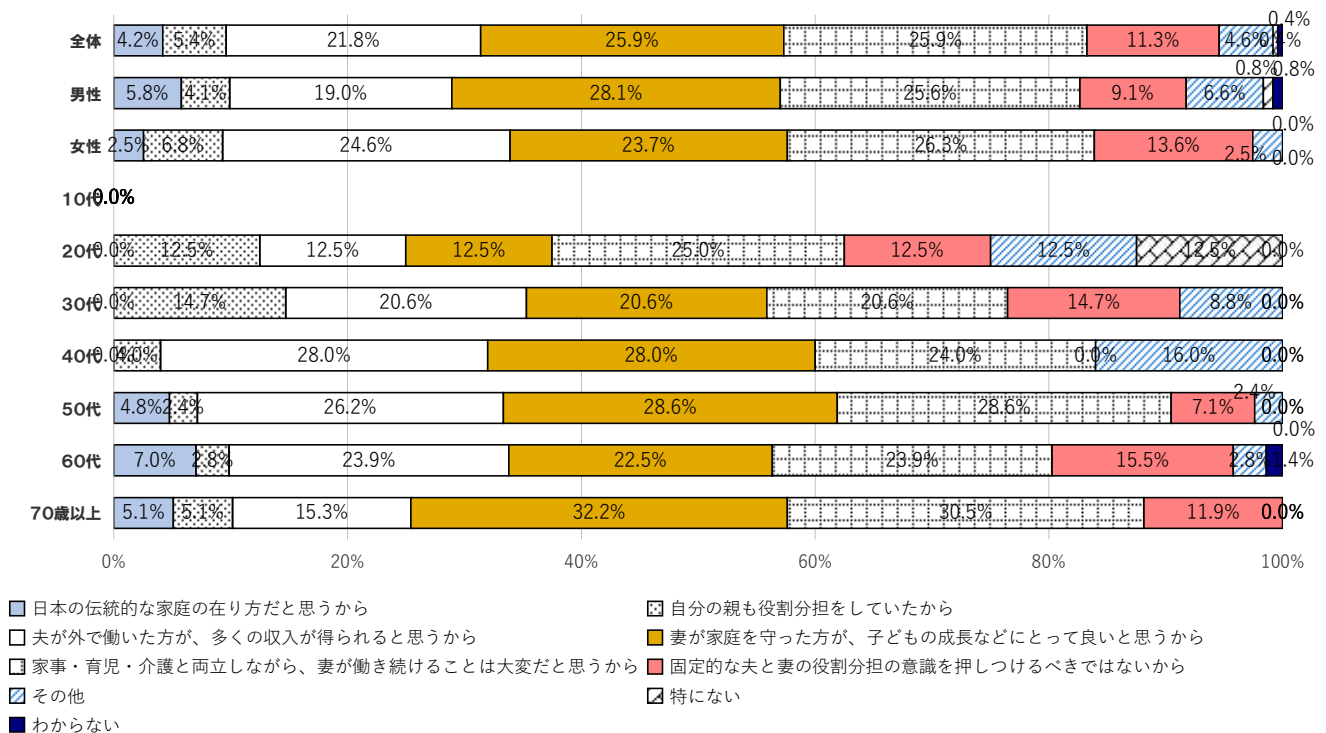
問6 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。（1つだけ○）

（回答者数 508人）



問7 問6で「1. 賛成」、「2. どちらかといえば賛成」と答えた方にお聞きます。それはなぜですか。（3つまで）

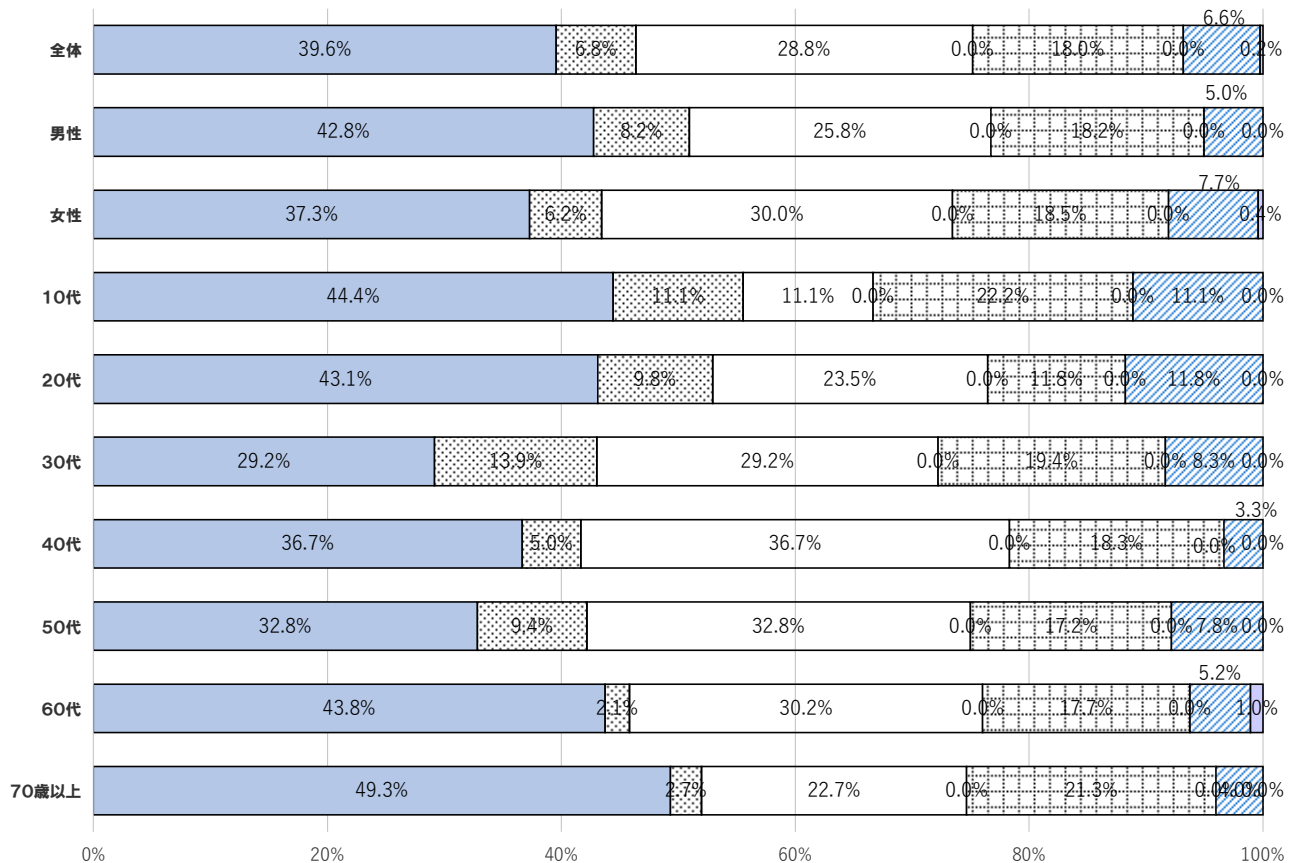
（回答者数 107人）



・その他 子育ての大切な時期に子どもと過ごす時間を持てる方がよい。
自分自身が実現できたとしたら、その生活をしてみたいから
伝統的な日本文化”近所の助け合い”を維持するため
日本の伝統ではなく、人間の進化の過程においてもこのような形であった。
その方が合っている
収入の多い方が外で働く
妻に楽をさせたいから
夫の収入で生活できれば良いが、共働きでないとその暮らしが難しい。女性しか子どもは産めないのに、まだまだ産休・育休に世の中が冷たい。妊婦で働く女性にも冷たい。年金など、不安が多すぎる。安心して子どもをたくさん産んで暮らせる世の中ではない。
個別例外はあっても当然だが、総体としての性差役割も生物学的合理性
不平等とは別問題。それぞれの役割
男女関係無く収入の多い方が働いた方が良いと思うから

問8 問6で「3. どちらかといえば反対」、「4. 反対」と答えた方にお聞きます。それはなぜですか。（3つまで）

（回答者数 347人）

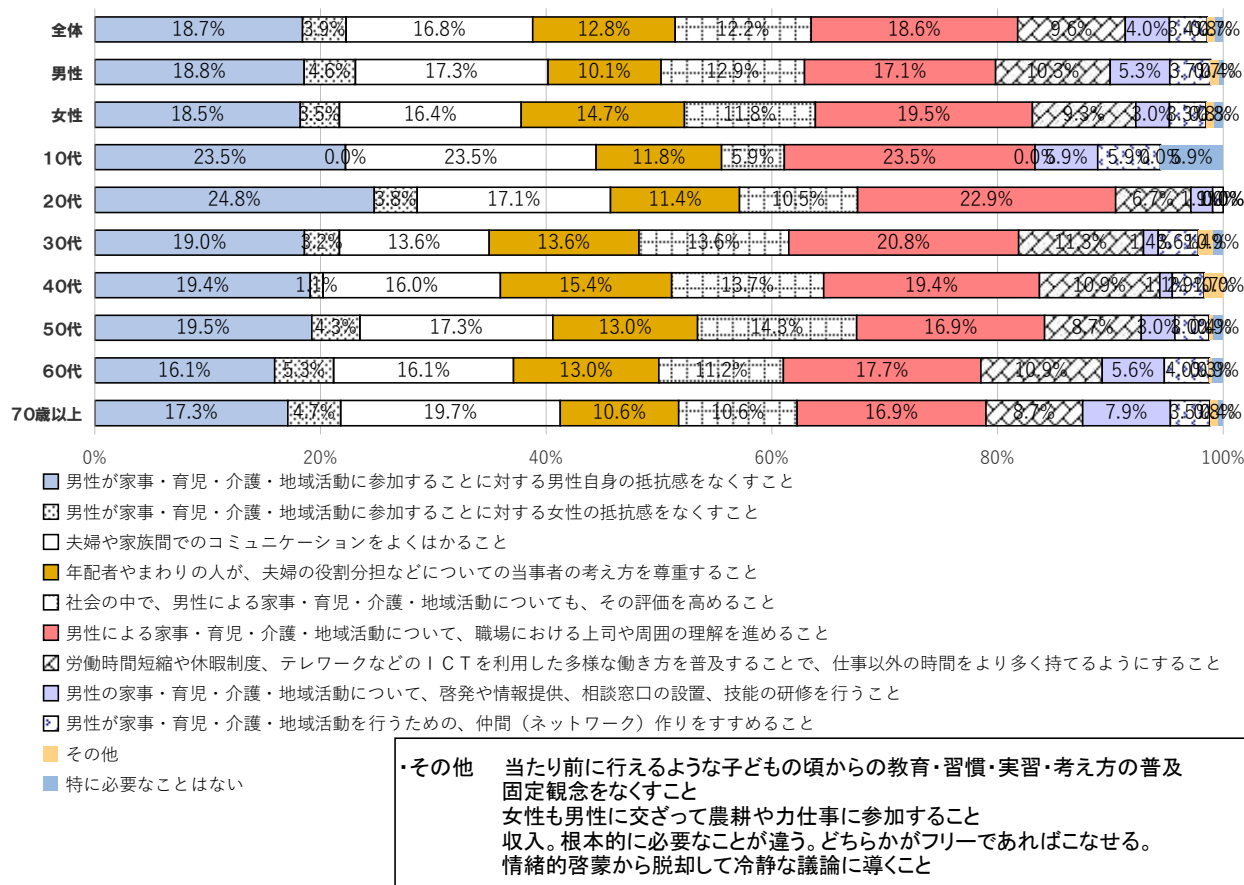


- 男女平等に反すると思うから
- 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
- 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
- その他
- わからない
- 自分の親も外で働いていたから
- 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
- 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから
- 特にない

・その他 お互い助け合っていくべきだから
妻も外で働いた方が、平等で生きがいにもなる
社員の場合、多くは夫の給与だけでは平均的な生活ができなかったり、雇用形態が多様化しているため
夫婦で話あって決めればよい。主夫でも主婦でも共働きでもよい
個人で異なるので、性別で判断すべきことではない
家庭毎に適した形があると思うから
決まりはないから
現実的に夫も妻も働きに出ないと生活がきつい。妻が家庭のことも全部やり仕事もするというのは妻の負担が大きすぎると思う
男女の役割を社会が決める必要はない
社会とつながることで、自分の存在意義にもつながるから
出産・育児・介護との両立が社会で十分確立されていないから
家庭内の役割分担は年代、構成、社会とのつながり等で変化し、互いの考え方も様々であり、画一的でなくやわらかな対応が必要だと思うから
男性に劣らず働きたいから
夫の収入だけで暮らせるなら妻は働いても働かなくても良いが、夫の収入だけでは厳しい。子育てするならなお大変。
逆のパターンがあっても良いと思うから
妻と夫が、固定概念にとらわれずそれぞれの個性を活かして協力して生きていくのが本来のあり方だと思うから。
今後社会に出る子どもの意識も変えることができるから
夫と妻で必要なバランスを相談し、家庭ごとの在り様があって良い。強制の必要はない。
男女の分けではなく、得意・不得意で分ければ良い
家庭は2人で守っていけば良いと思うから
妻が働き、社会の一員として活躍することを応援したいから。
ニュース等で女子が活躍している国のことを見て共感させられる点が多いこと。
男女夫婦前提の設問に違和感
男性が家庭、女性が働くでもいいと思う。男性が、女性が、という点が間違っている。

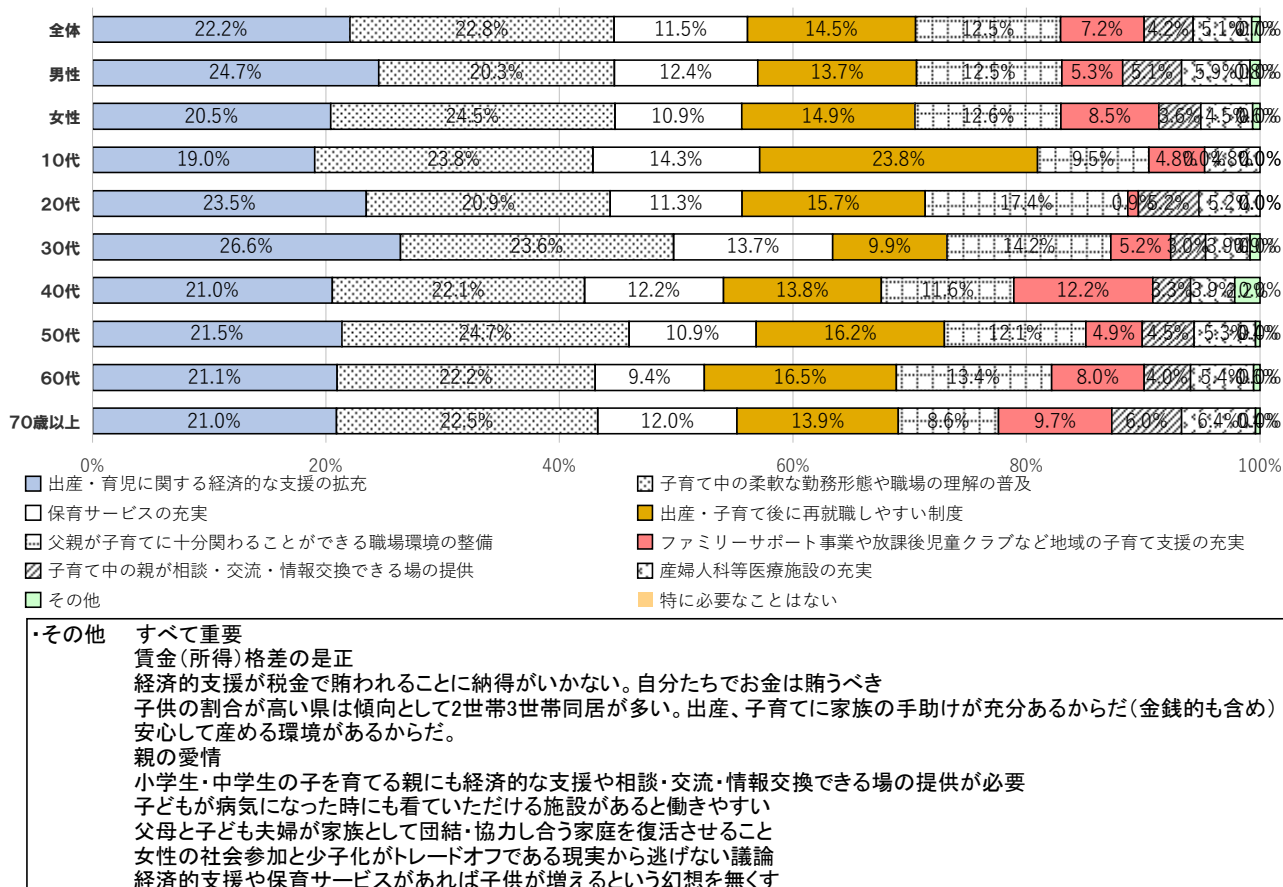
問9 今後、男性と女性とともに家事・育児・介護・地域活動を積極的に行うためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで）

（回答者数 508人）



問10 安心して子どもを産み育てるためにはどんなことが必要だと思いますか。（3つまで）

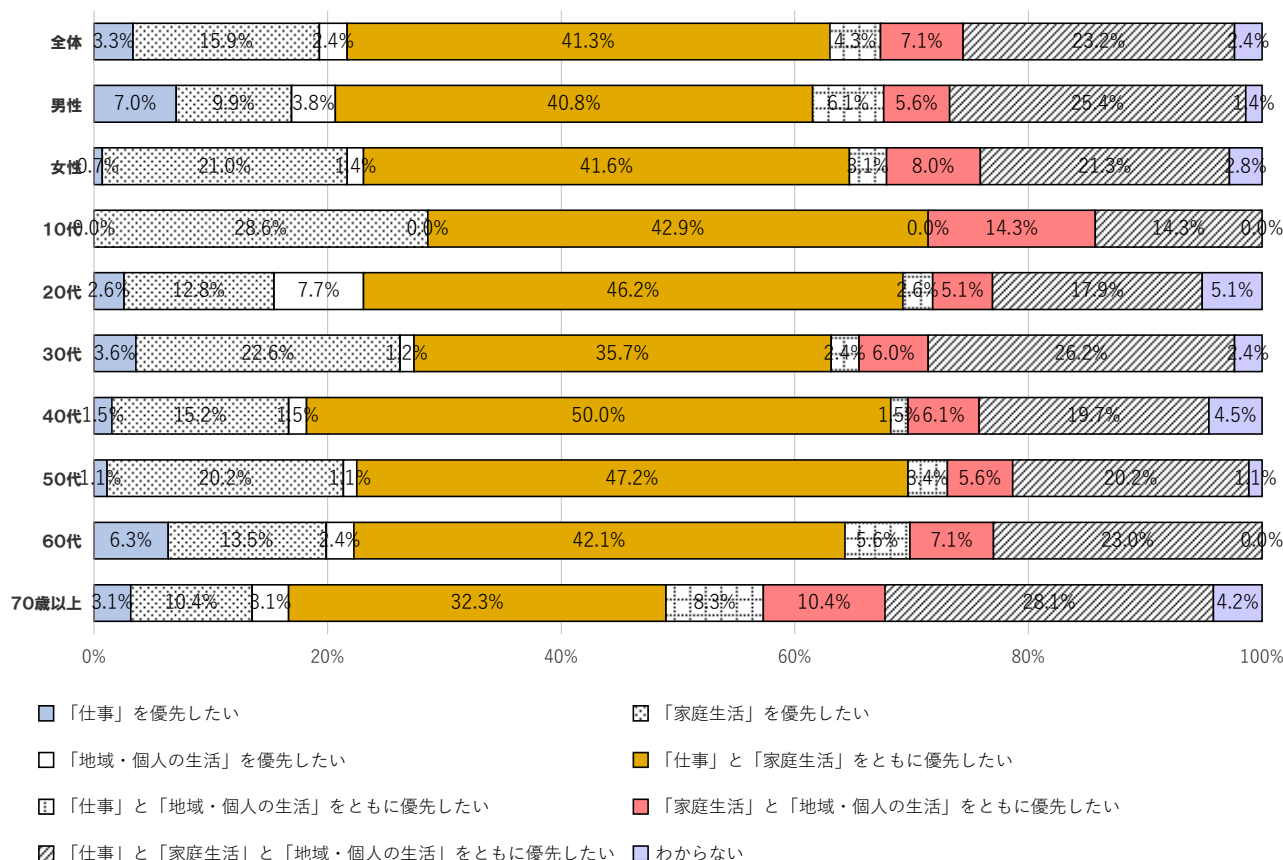
（回答者数 508人）



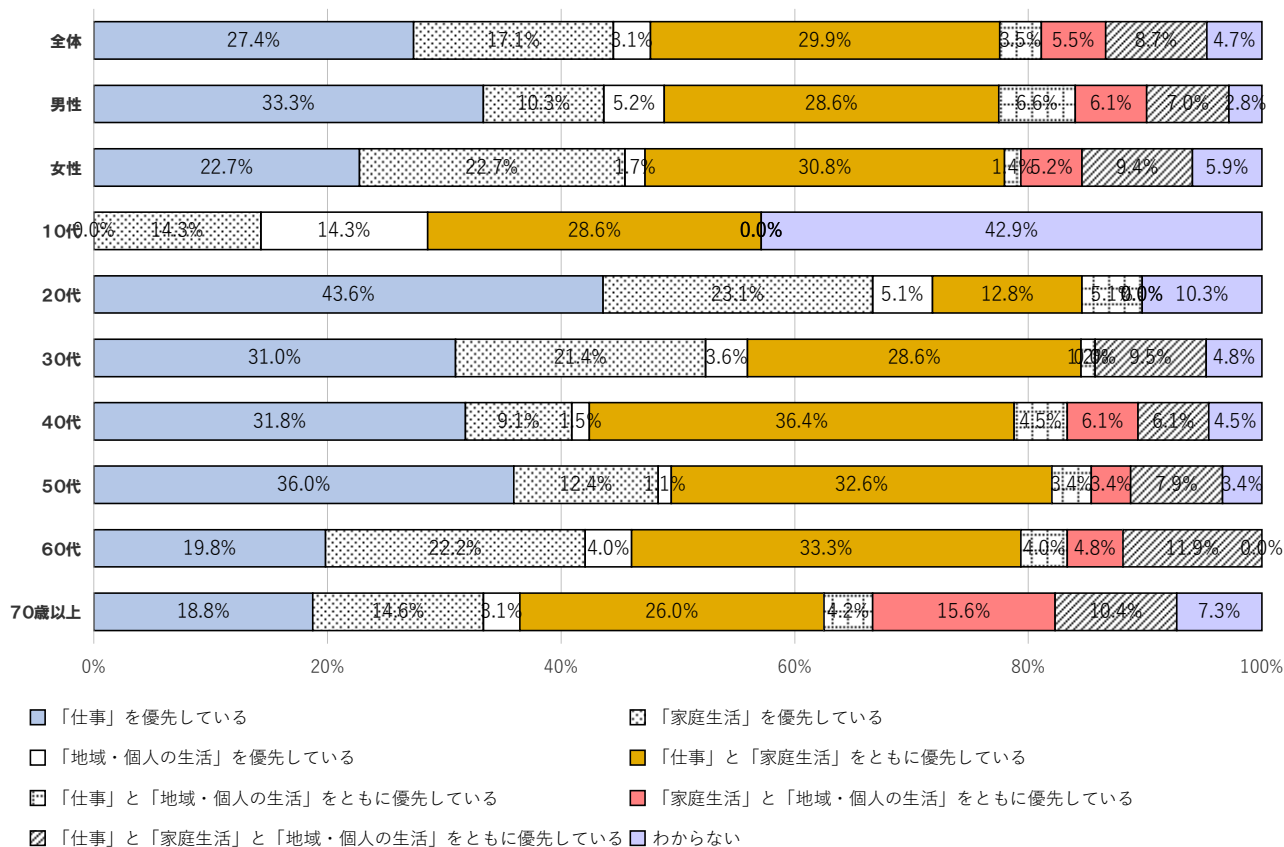
問11 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」の優先度についてお伺いします。

(回答者数 508人)

(1) あなたの希望に最も近いものをお答えください。(一つだけ)



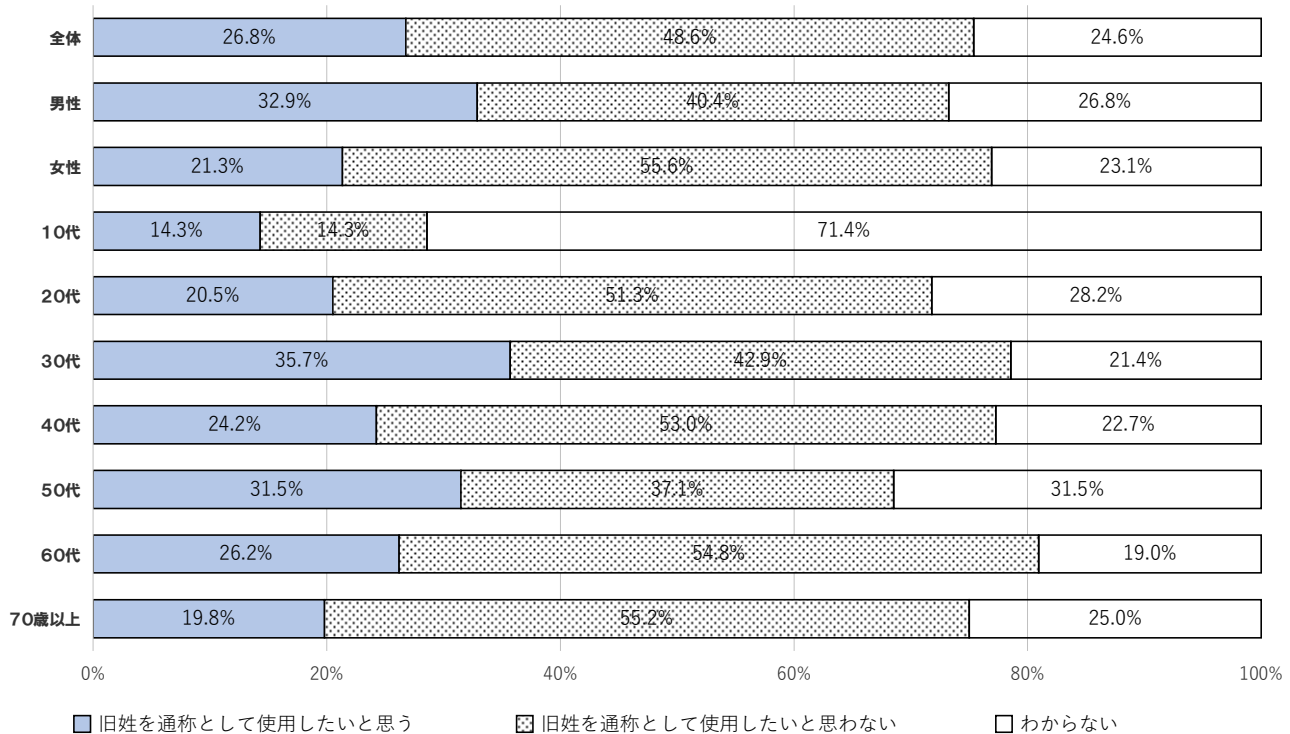
(2) あなたの現実・現状に最も近いものをお答えください。(一つだけ)



旧姓使用等に関する意識について

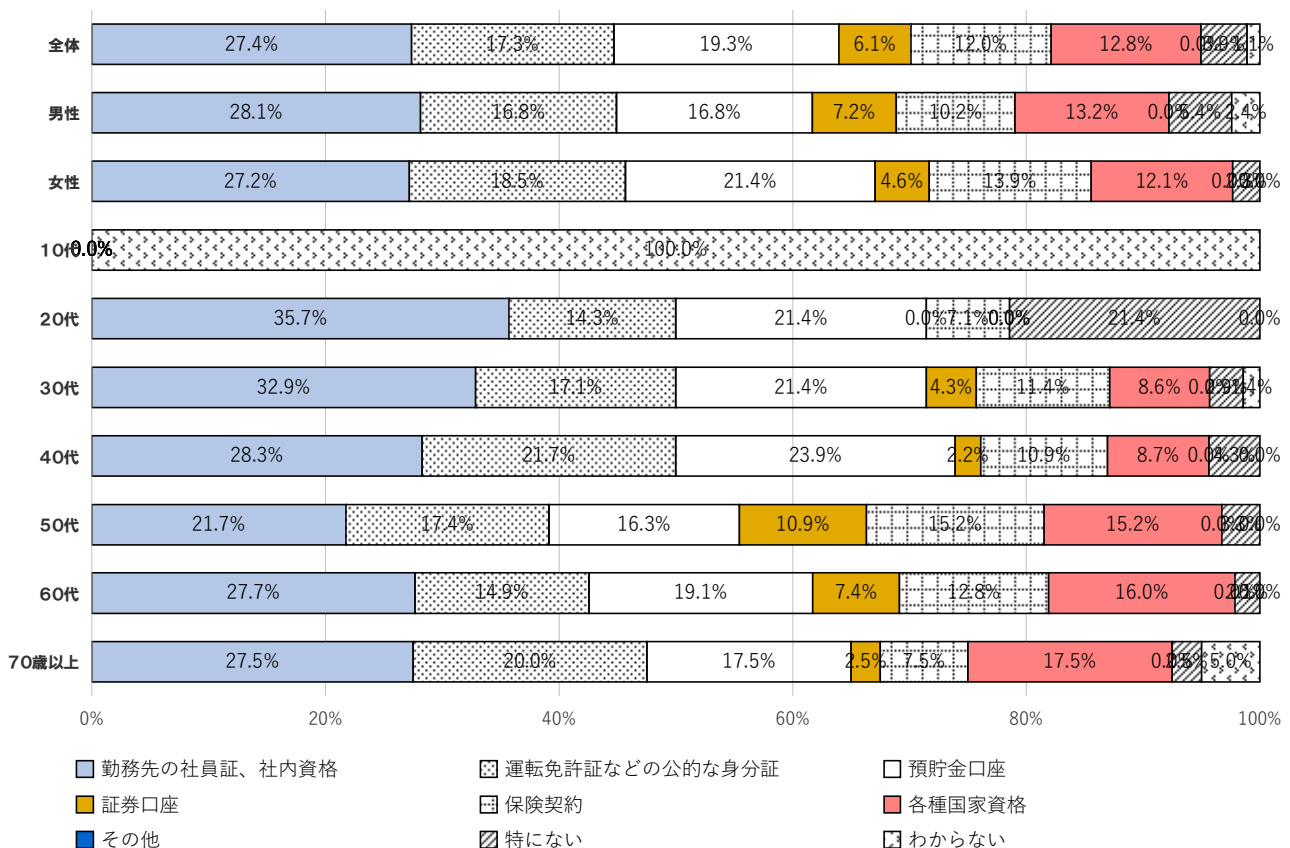
問12 あなたは、仮に結婚して戸籍上の名字（姓）が変わったとした場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思いますか。あなたが結婚なさっている、いないに関わらず、お答えください。（1つだけ○）

（回答者数 508人）



問13 問12で「1. 旧姓を通称として使用したいと思う」と答えた方にお聞きます。住民票やマイナンバーカードに希望者は旧姓を記載できるようになりましたが、これ以外に、どのようなものに旧姓を使用したいと思いますか。（複数回答可）

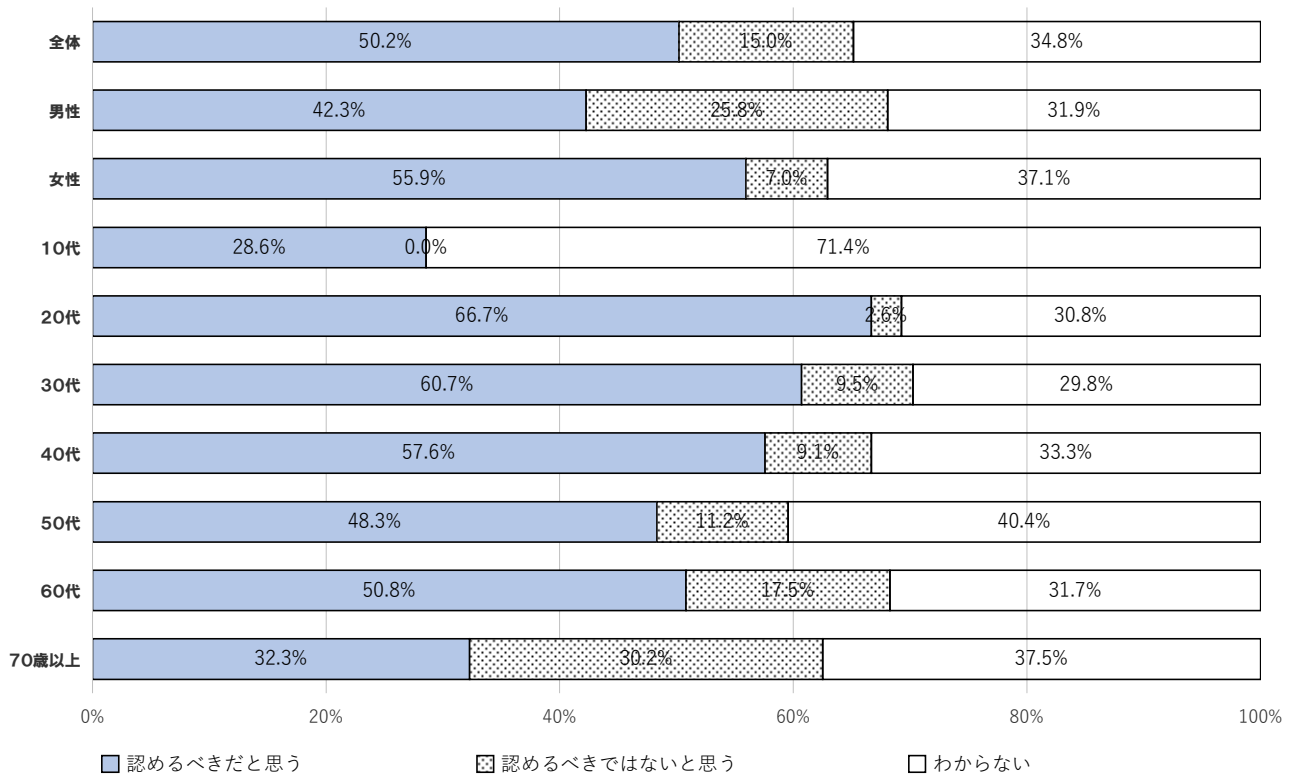
（回答者数 136人）



問 1 4 現在、日本では「選択的夫婦別姓制度」は認められていませんが、選択的夫婦別姓は認められるべきだと思いますか。

【一っだけ〇】

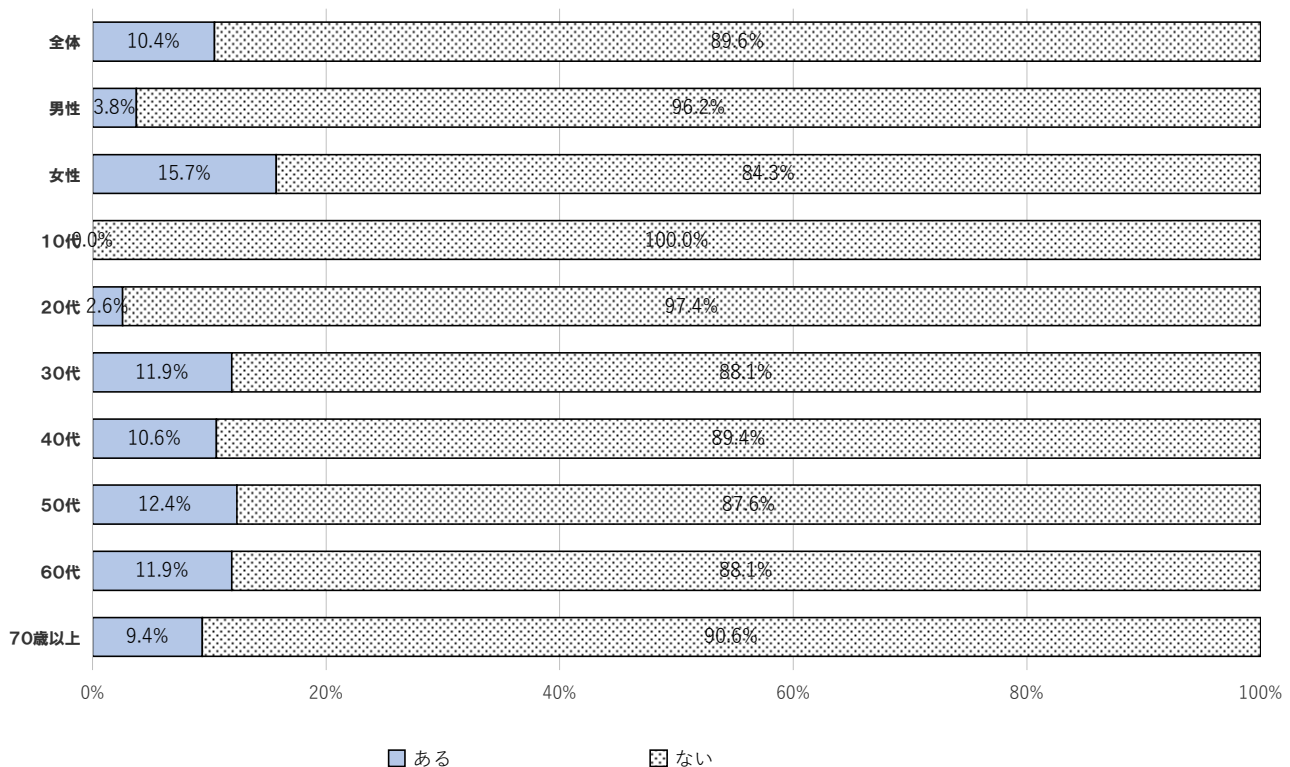
(回答者数 508人)



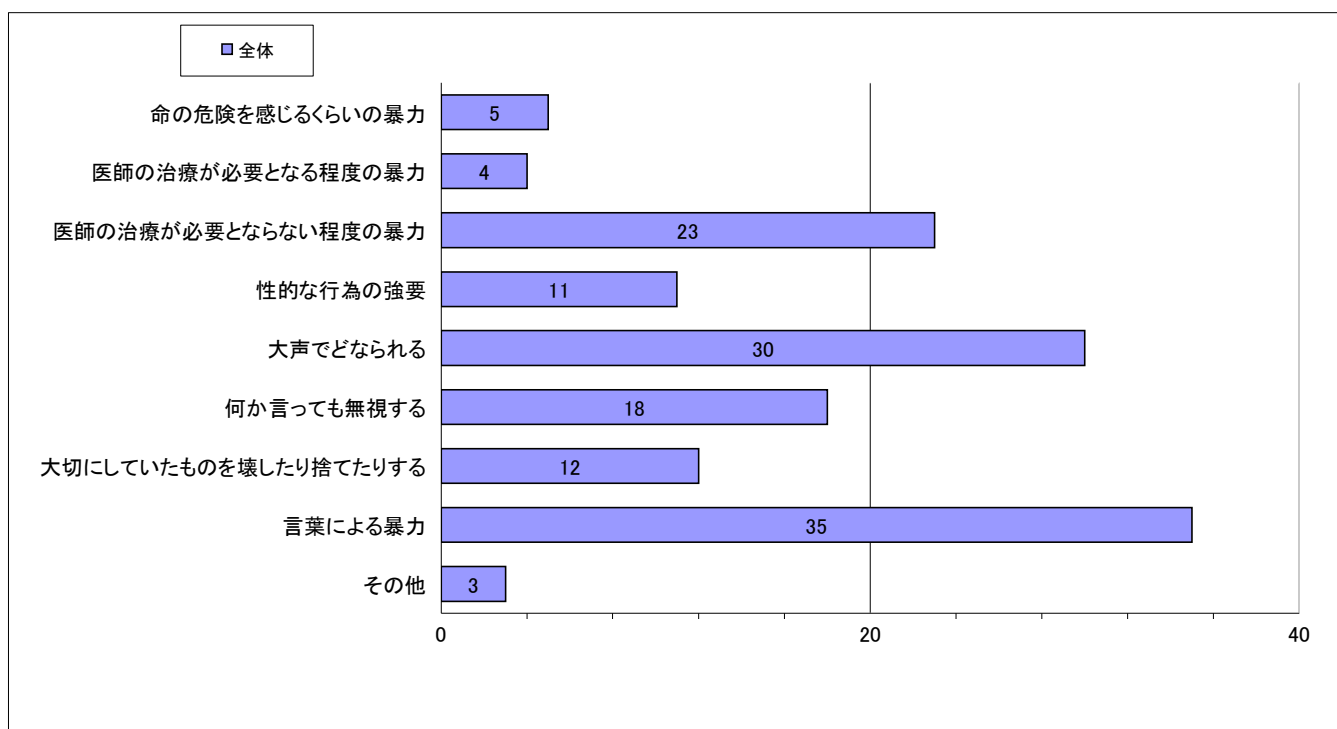
配偶者からの暴力について

問 1 5 あなたは、配偶者やパートナー、交際相手から暴力を受けた経験がありますか。

(回答者数 508人)

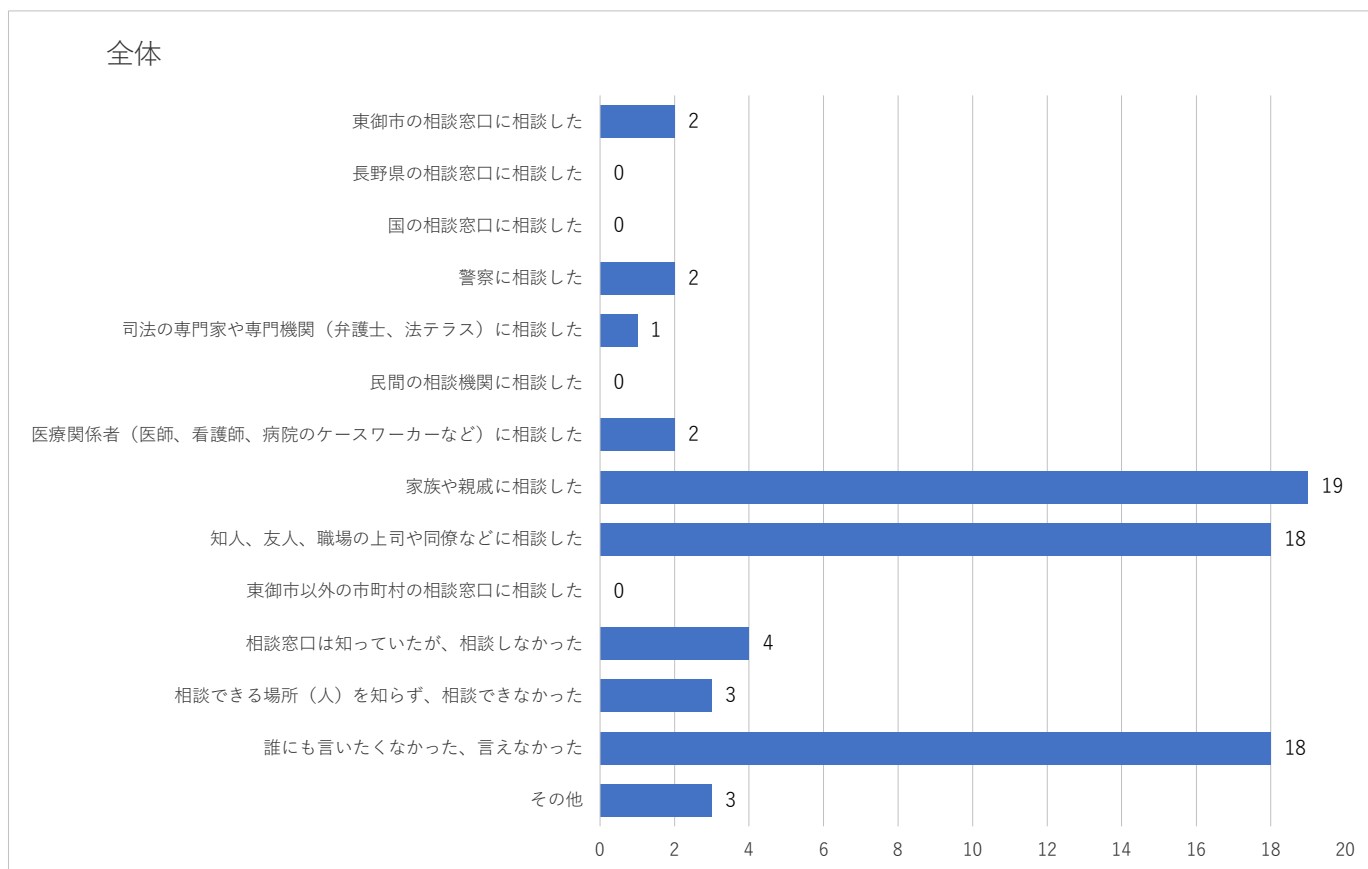


(1)それは、下記のうちどのような行為ですか。【複数回答可】



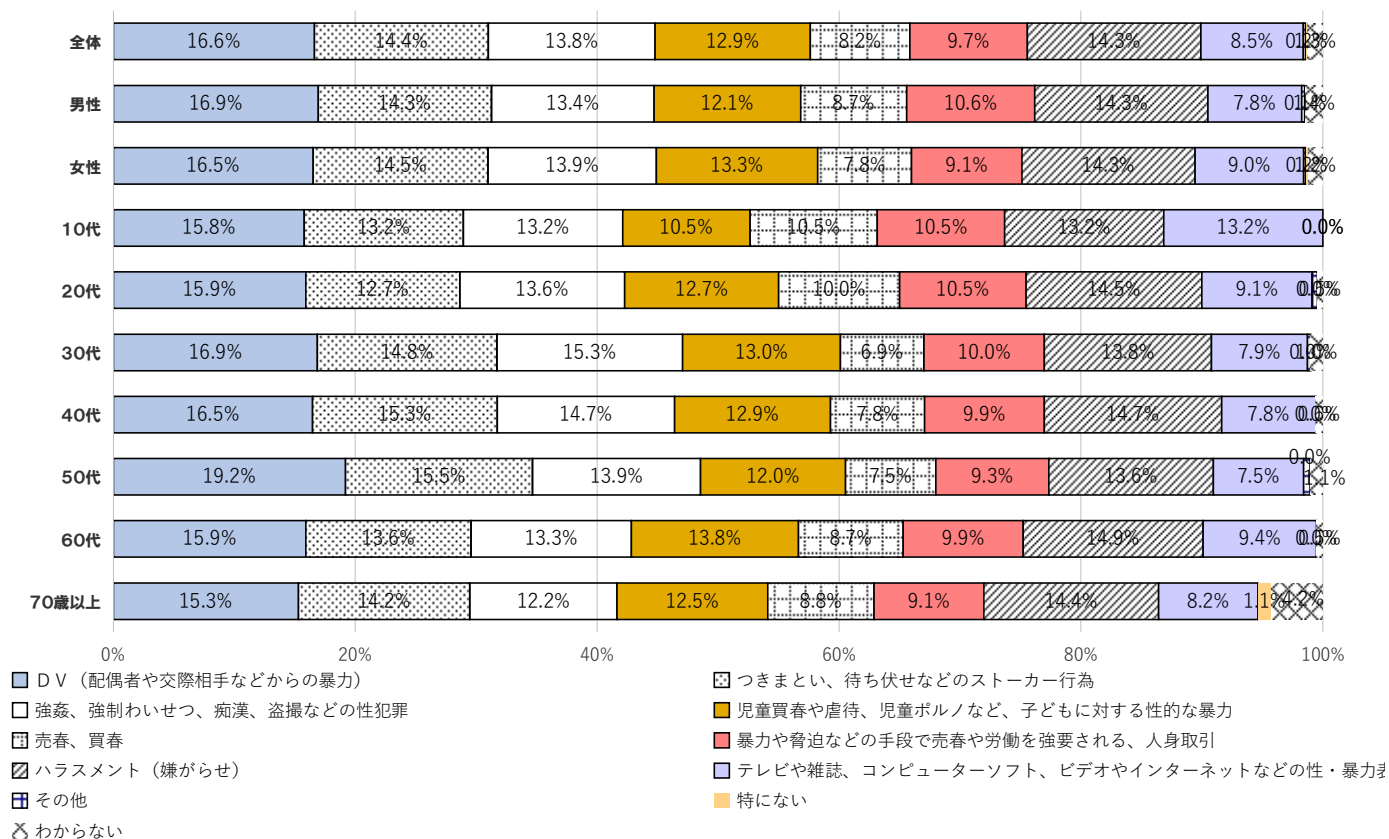
(2)そのような行為を受けたことについて、どこかに、また誰かに相談しましたか。【複数回答可】

(回答者数 53人)



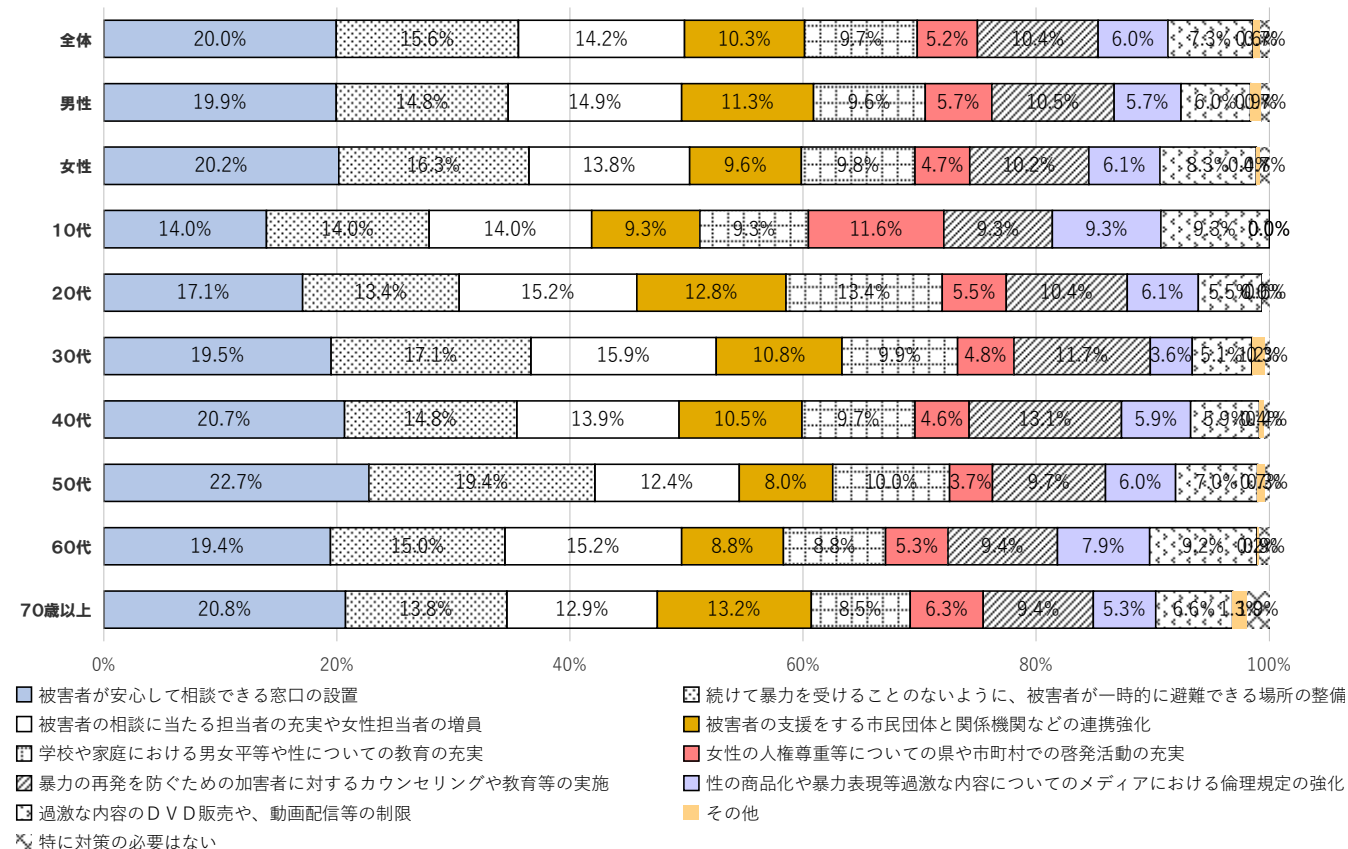
問17 現在、行政は「女性に対する暴力をなくす運動」に取り組んで、次のような暴力への対策を進めることとしています。この中であなたが対策が必要だと考えるのはどれですか。【複数回答可】

(回答者数 508人)



問18 性犯罪、夫婦間暴力、セクシャルハラスメントなど女性に対する暴力の対応として、どのようなことが効果的だと思いますか。【複数回答可】

(回答者数 508人)

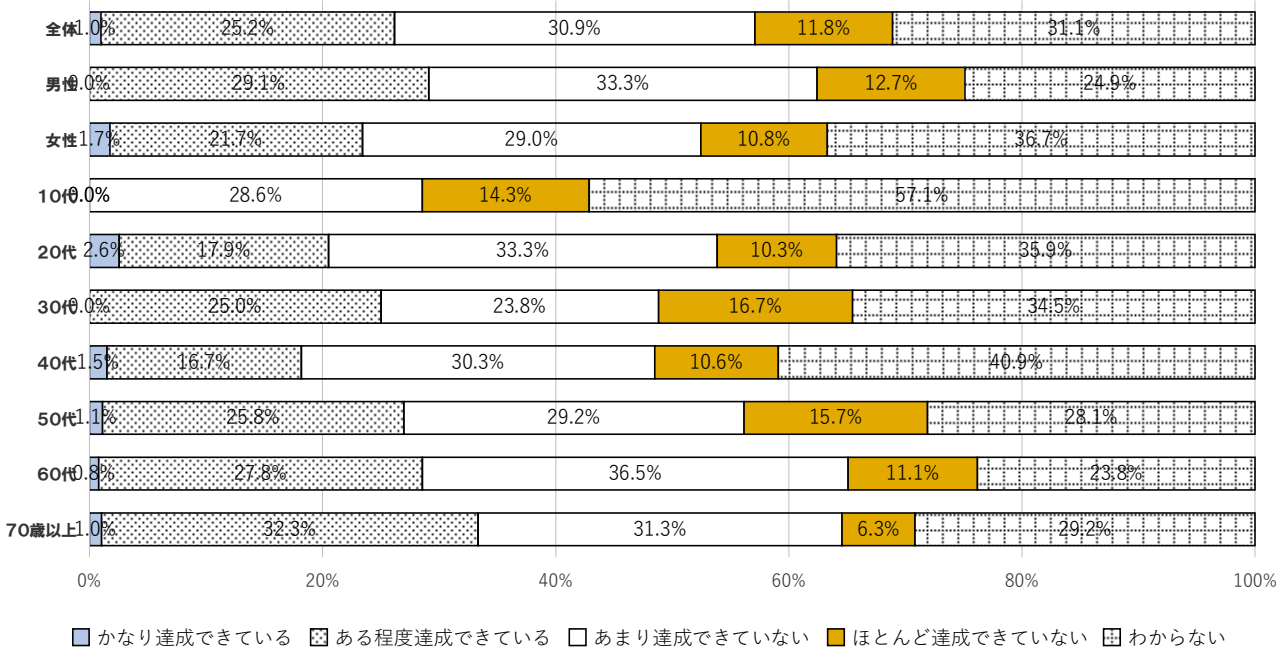


男女共同参画社会に関する行政への要望について

問19 あなたは、あなた自身の生活や身の回りの環境から判断して、現在、男女共同参画社会は達成できていると思いますか。

【一つだけ〇】

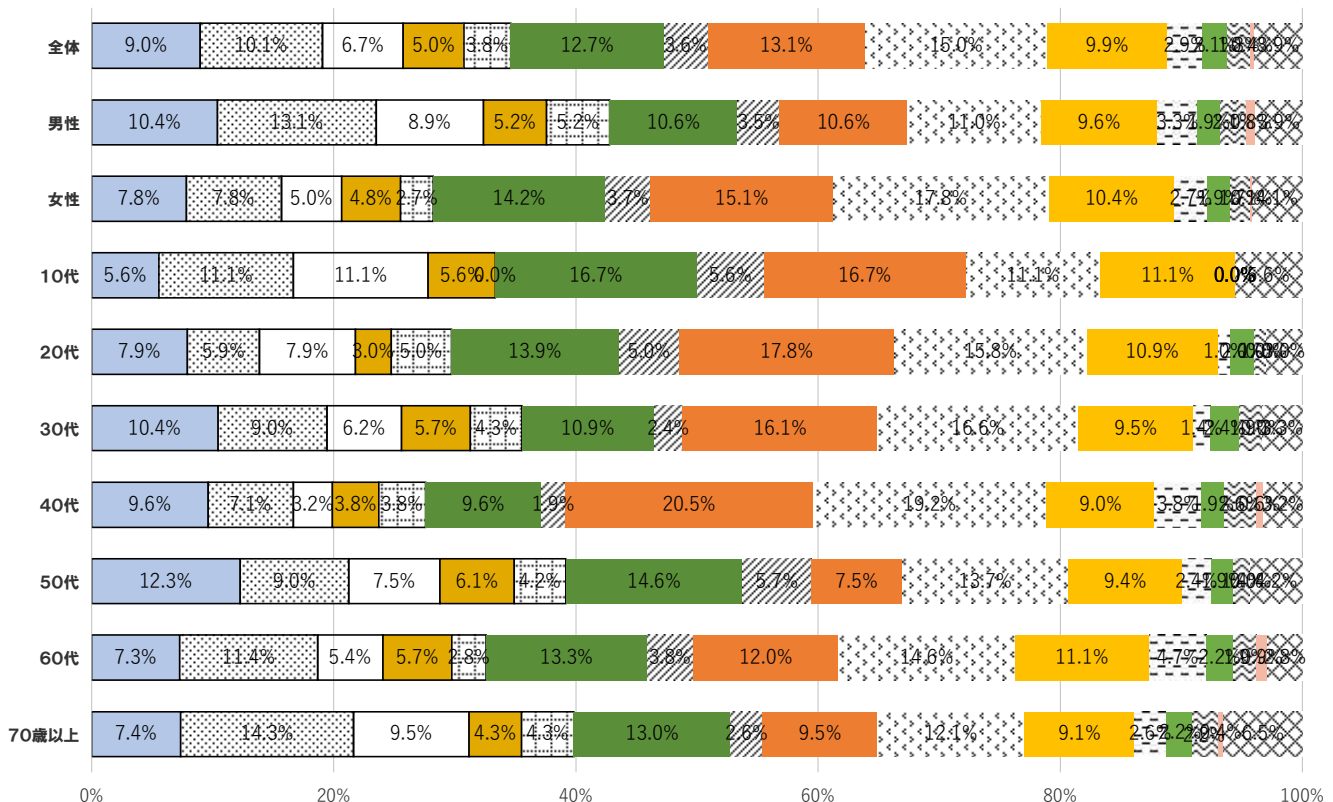
(回答者数 508人)



問20 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

【特に重要だと思うことを3つまで】

(回答者数 508人)

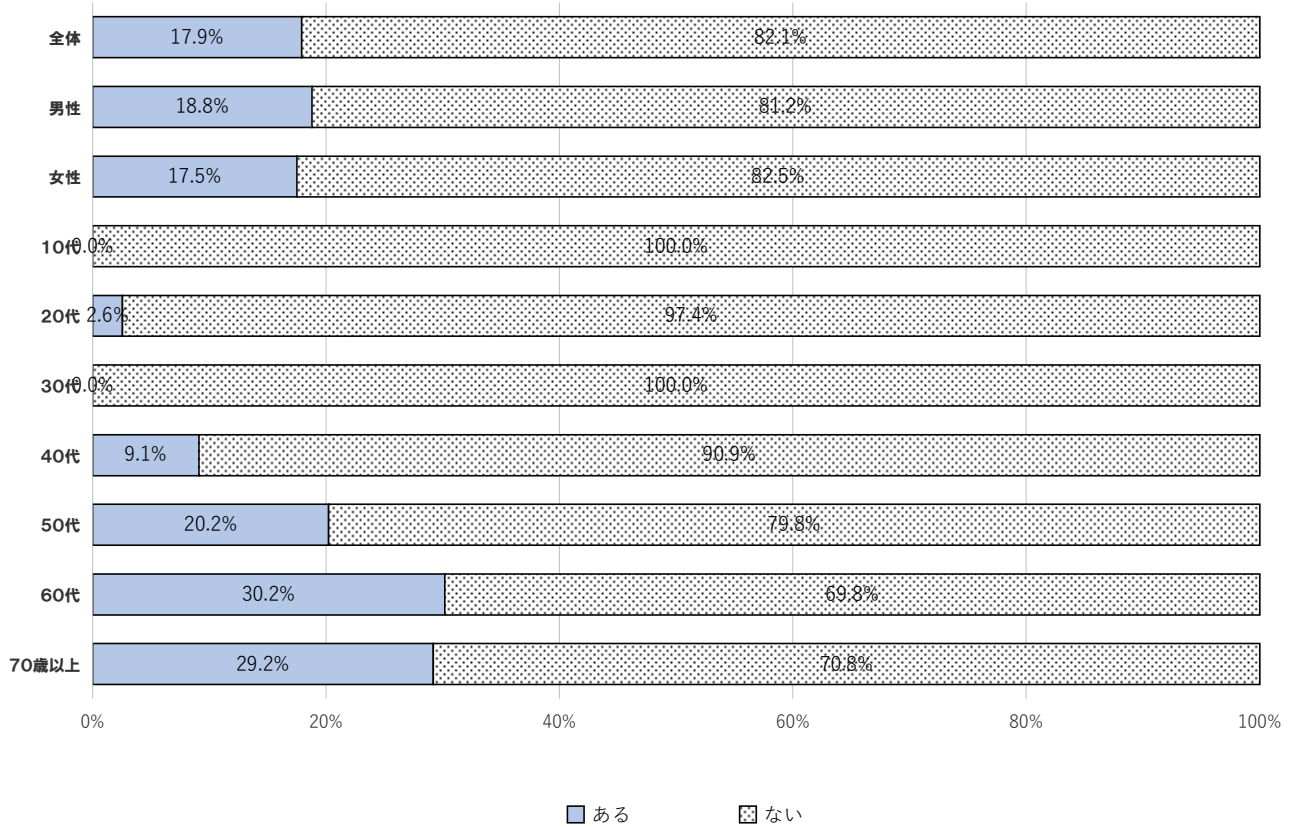


- ☐ 法律や制度の面で見直しを行う
- ☐ 民間企業・団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する
- ☐ 従来、女性が少なかった分野（研究者など）への女性の進出を支援する
- ☐ 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
- ☐ 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
- ☐ 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に参画させる
- ☐ 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
- ☐ 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
- ☐ 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
- ☐ 子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
- ☐ 女性に対する暴力を根絶するための取組を進める
- ☐ 特にない

その他

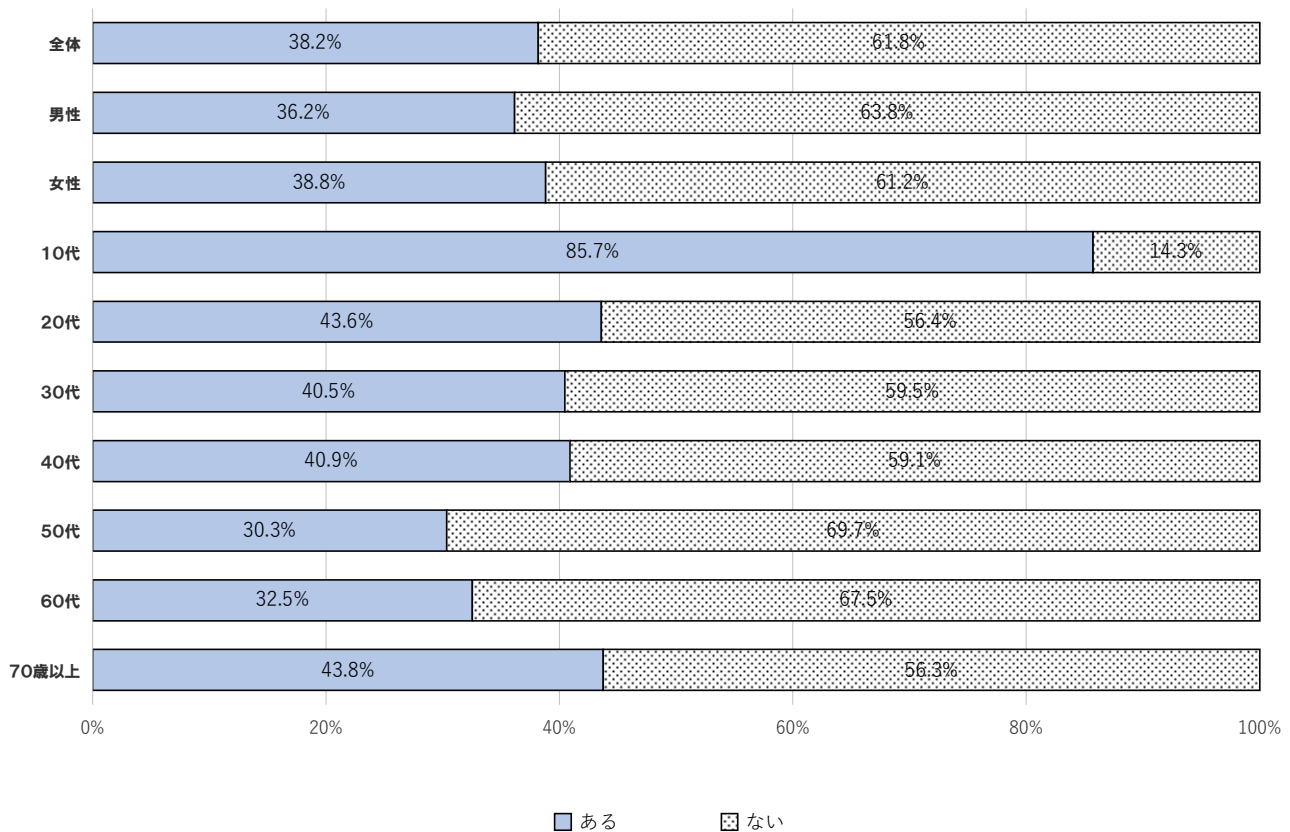
問21 男女共同参画推進関連学習会・講演会に参加したことがありますか。

(回答者数 508人)



問22 男女共同参画に関する諸外国の動向や国際比較（ジェンダーギャップ指数等）に関心がありますか。

(回答者数 508人)



(ご意見欄)

「男女共同参画」について、行政の施策、地域活動、慣習など、普段感じていることをご自由にご記入ください。

地域においては、特に高齢の方が女性に対し蔑視が強い場合が多く感じる。職場では、男性の育休取得など男女共同参画の意識が浸透してきていると思う反面、女性は役職や係などにつきたがらず、結局男性の仕事が増えていき不満に感じる部分がある。(男性、30代)

子育てや介護など家庭内で人目につきにくいところで人知れず苦勞するのは女性がほとんどと思う。慣習も含め特に田舎は顕著で長野県もかなり遅れている。他県から移住した方によく言われた。(女性、60代)

区内の役職(区長・副区長・会計・公民館長)に女性が登用されているのをみたことのないので推進をしてはどうか。女性市長の登用も進められないか。(男性、60代)

このアンケートだけで終わらないようお願い(男性、70歳以上)

アンケート調査をして終わりではなく、どのように実行・実施していくか具体的に公表してほしい。男女共同参画については国の指針にのっとり、方向性を決めているはずだが、具体的な活動が主婦目線のものがあり、それ自体いかななものか。(女性60代)

男女共同参画について具体的な活動をもっと市民にアピールしていければよいと思う。(男性40代)

地区の役員決めの際に、男性・女性の分担に暗黙の了解みたいなものがある。今まで既存の慣習やモデルを時代遅れにする新しいモデルを期待する。(男性、50代)

年配の方に男尊女卑の慣習が根強く残っていると感じる。(男性、60代)

男女の考えはまだまだ差があると思う。(女性、50代)

毎年慣例的に行われている地域活動について、役員が改選されているにも関わらず、地区の経験者等により行われている。コロナ禍のピンチをチャンスと捉え、若い皆さんに新しい地区・街づくりにトライしていただき、若い人たちの住みやすい東御市になることを願う。
(女性、60代)

女性が辛いと思っていること、困っていること、我慢していること、不利なことなど細かいところからでも改善したり提言していく。男女の賃金格差、女性の地位の格差がひどい。それは年金の格差にもつながる。(女性、70 歳以上)

時代と共に生活も変わってきている。今の若い世代は夫婦で家庭を共に生きている。
(女性、70 歳以上)

このようなアンケートを通して市民の意見を聞くことは大変有効であると思う。しかしながら行政における女性管理職の割合や女性議員の数を見ると、市民の要望を聞いたとしても果たしてそれらが形となるのは可能なのか不安になる。自らの男尊女卑の固定概念を疑いもせず周囲に押し付ける自治会役員や男性議員が多く存在するうちは、東御市の男女共同参画は机上の空論の域を出ることはないと思われる。男女平等の意識を当たり前のこととして教育を受けた世代の意見を率先して取り上げ、行政や地域のリーダーに引き上げていくことも重要。(女性、60 代)

「男女共同参画」という言葉が固い感じがして、身近な問題として捉えにくいと思う。社会全体が”自分事”として考えられるような工夫が必要であると思う。地域や職場などで以前と比べると女性の地位は向上しつつあると思うが、まだまだ男性が優位であったり、女性が意見することを快く思わない風潮があることも否めない。政治家、首長、企業の管理職等トップの立場の人は、男女共同参画や男女平等の意味について改めて認識し行動してほしいと思う。
(女性、30 代)

年配の方の理解が少ないと思う(女性、40 代)

男女共同参画、平等など、言葉は常に広報紙などで見聞きしているが、実際には特に男性社会で意識の中に定着していないと思う。まずは意識改革だと思うが、長年思い込んできたものは無意識に表面化するものなので、女性の長を増やしたり、就職も幅広くできるようにしながら意識改革を積極的にしてほしい。(女性、70 歳以上)

周りの社会がサポートし、女性個人が独立した経済力をつけることが重要であると思う。東御市では行政で頑張ってくれていることが感じられる。私も地域活動を主として応援したい。
(男性 70 歳以上)

同じ年齢・キャリアでも、女性の方が賃金が低いので、家事・介護を行うために仕事を変更するようなことが必要になった際には、女性にしわ寄せがいくのが現状である。仕事に集中できない、仕事を任せない環境が原因ではないかと思うので、女性の地位を向上するために収入を高めることが必要だと考える。(男性、60代)

自分の子どもは夫婦で責任をもって、愛情と忍耐、女性・子どもを大切にする、幸せを感じるという心を育て、社会へ送り出すことが必要ではないか。男女共に思いやりを忘れないでほしい。(女性、70歳以上)

昔ながらの地域活動や慣習は、核家族や共働き、男性だけ、女性だけの家庭を想定しているだろうか。一人暮らしでの地域活動は大変な負担であるかもしれないし、反対に出かけるきっかけになって嬉しくもあるかもしれない。様々な家庭があり、活動できる人、できない人、やっても良いと思っている人、やりたくない人もいるでしょう。この先の人口減少等を見据えて一度整理が必要。(女性、60代)

女性に区の役員等をお願いに行くと断られることが多い。(男性、70歳以上)

事と場合によるが、男性(女性)がやって当たり前と感じてしまう価値観が自分の中に植え付けられてしまっている事例がたくさんあるので、まずその意識を根本的に変えていくように努力しないといけないと思う。(女性、40代)

行政の施策として積極的にあらゆる事項について取り組みをしてほしい(男性、70歳以上)

私たちの時代は、夫が育児や家事に手を出すと義両親に色々と意見を言われ、手伝ってもらうことが難しかった。息子が家庭を持てからは、息子が積極的に育児や家事に参加できる環境を作る手伝いをしている。周りの同年代のおばあちゃんおじいちゃんも積極的に孫たちの育児など手伝っている。だいぶ変わってきているとは思いますが、まだまだ行政等には職場の勤務形態や子育て支援の制度を考えてもらいたい。(女性、60代)

市の行政を担う地位に女性が少ない現実をどう考えるか。どうすれば男女が半々になるか。この問題を解決しなければ市の方針も空論とならないか。(男性、60代)

世帯単位のサービスが主体となっていることの変革が大切と思うが、具体的方策について検討していくことが必要ではないか。(男性、70歳以上)

男らしさ、女らしさを基本に男女の能力を十分に開花するような仕組みをつくること。法律や条例で女性の登用率を決めるべきではない。(選択しない、70 歳以上)

家事をすべてやり、仕事もし、忙しい毎日ではあるが、職場の女性の上司が、子育て中の私に対して心ある言葉をかけてくれ、たった一言でも満足している。自分満足しているが、苦労している方のこともしらなければいけないと感じている。(女性、30 代)

男性は働き、女性は家庭を守るという風習(考え方)が当たり前だと思う人がまだたくさんいるように感じる。女性も働きに出ないと生活(家計)を支えられなくなっているが、女性が家庭も仕事も全部やり、男性は仕事だけをしている人も多いように感じる。しかしまだ職場などで男性が出産・子育てなどの休暇制度が確立していないので、男性がもっと家庭に協力できる社会になってほしいと思う。(女性、20 代)

このアンケート自体が 20 年前と変わらない印象を受けた。「女性も外へ社会へ」というより、男でも女でも得意な人が得意な方を選べる社会なら良いと思う。柔軟な考えを持つ若い世代が前に出た方が「男女共同参画社会」が進むように感じる。介護も育児も女性が中心であり、男性は”手伝う”という感覚がまだまだ当然のように言う人が多い。”一緒に共に”の感覚にならないのは、男性が会社を休みにくい(介護・育児の時間を取りにくい)ので、今の行政の支援では今までの暮らしを続けていけない。(女性、50 代)

地域の活動や会議に参加すると、昔の慣習に縛られて、前向きに前進する姿がない。社会全体を見ると、男女共同参画はいぜんよりは進んでいると思うが、小さい時から男女共同参画の教育を推し進め、男女平等、男はこうあるべき、女はこうあるべきを改め、お互いに尊重し合う社会が望ましいので、改めて学校教育の重さを感じる。(女性、60 代)

基本的に本人の意識の問題なので、子どもの頃から男女平等や差別など無いよう伝えていくことをしてほしい。すべてを良くする事は、難しいので、どこからどうするかを考えていただきたい(女性、50 代)

今の時代、始めに「男性は…」「女性は…」という発言はナンセンス。我が自治会長他3役は過去 70 余年男性であり、長になる女性はいない。男女共同参画を強く希望する女性も、もっと積極的に行わないといつまでたっても現状は変わらない。(男性、70 歳以上)

男女共に得意不得意分野があるので、一律に男女平等というのはどうかと思う。個人個人の考え方や個性があるので、しほりをかけずに社会や自然の流れに沿った方策にすべきと思う。(男性、60 代)

近所付き合いが少なくなっていることが、お互いの理解をなくしたり、男女共同参画の基を失っていくことにならないか。区の会議などは、一戸一人が当たり前で、当然のように男性が出ている。それがその他の文化活動・地域活動などへの女性の参加を少なくしている基になっていないか。(男性、70 歳以上)

「男女共同参画」の活動をどれだけの人たちがわかっているか、下げて見る目線、姿勢が不可欠である。行政側の独自の行為が活動の阻害要因になるのではないかと常日頃感じている(男性、60 代)

共働きでも、家事や育児はできる人がやれば良いと思う。今はまだ社会がおいついていないので、職場の理解がもっと必要。(女性、60 代)

このアンケートは女性に対する「ひいき」があるように感じた。女性が社会に進出するのは問題ないが、男性と女性では身体能力に差があるので、能力適正が必要ではないか。体力的にも差があるので、仕事の内容では平等とはいかないので、男女平等には絶対にならないと思う。仕事等は男性がやるのは当たり前という女性の考えを見直す必要もあると思う。男性、女性ともに理解しあえて、お互い納得しての行動ができるような社会にならないといけないと思う。男性は仕事、女性は家事育児の世の中ではなく、夫婦間、職場等で理解・納得しあえれば良いと思う。(男性、60 代)

現状、市で進めている内容について、具体的に解るよう市報などに掲示してほしい。(男性 70 歳以上)

東御市には助産所という素晴らしい施設があるが、活かされていないと思う。市民病院を整備し、助産所をもっと活かし、子どもを安心して産み育てられる、他の地域にない東御市を創り上げてほしい。(女性、60 代)

男女共同参画社会について普段考えたことがなかったが、やはりまだまだ男性優勢な社会であると思う。あからさまな男女差別は受けたこともみたこともないが、主に高齢者に男性優勢が根付いていると思う。(女性、20 代)

「男女共同参画社会の充実は、民主主義社会が実現されるための一つの手段だ」と言われている。環境・経済・人権・健康等様々な問題が山積みの中、解決や新たな提言に色々な立場の方々が取り組み、意見を出し、解決に向かって参画することが望まれる。行政も情報を広く収集・発信し、人々の声を聞き、地域から目指す社会づくりに歩みを進めていってほしい。家庭・地域など身近な問題を見直す機会があったら良いと思う。(女性、60 代)

まずは行政(市職員)の質の向上に努めてもらいたい。相談に行っても対応が悪かったり、たらい回しにされたり、不愉快な思いをすることが多い、市民のための対応というより上から目線で物を言う(女性が多い)。市の職員は、会社に比べて女性が上の役職になることは容易だと思うが、教育もきちんとやってもらいたい。(男性、30代)

男の人と女の人ではできることが違うので、平等にはなれないと思う。男女問わずできること(行事や酒席での台所など)は、どちらがやっても構わないので、女性がやるべきと考える人がいなくなると良いと思う。男だから、女だからではなく、人として自分のできることは自分でやるほうが良い。(女性、60代)

夫の終業時間が定まらず、家族の生活リズムを整えるのが困難なため、勤務時間等の見直しを国全体で力をいれるべきだと思う。妊娠・出産・子育ては、全く問題がない人はごくわずかで、入院をずっとして出産する人や、入退院を繰り返す人など多いので、夫の職場含め、もっと理解をしてほしい。(女性、20代)

日本にも東御市にも「メルケル」はいるはずです。「メルケル」を発掘できない社会風潮は、1ミリであっても取り除く作業を地道にしていきたいものである。「メルケル」が埋もれていることは社会の損失であり、もったいないと思う。(男性、70歳以上)

女性にとって不便だと思うことが多々ある一方で、男性が女性からDVを受けることもある。そういう面も踏まえて男女平等・男女共同参画を考えて進めていかなければいけないと思う。(女性、20代)

この時代に男女というくくりで考えること自体が古い。人間は性別だけでなく等しく平等という概念をもっと表に出した考えにシフトする必要があると考える。一人一人が違う個体であり、人間の枠を超えて他者を尊重するということを皆が理解し、常に意識できるようになれば、男女がどうのこうのということ自体が小さな話であり、そこだけフォーカスしている現状がいかにナンセンスかがわかる。その為には小さい頃からそういった概念を教育する場を広く提供することこそ最も良い方法なのかもしれない。(男性、40代)

保育施設がもっとあると働く若いお母さんが安心して働けると思う。

介護施設も料金が高い為、毎日行かれない方がたくさんいる。家族の精神的ストレスもあり、本人も含め生活しやすい日々が送れたら良いと思う。

男性だから正社員、女性だからフルパートと、まだまだ何の保障もなく働いている女性は多い(女性、50代)

地区の三役などをもっと女性もやるべき(男性、70 歳以上)

日常、仕事のため「男女共同参画」について市内から実現、施策を更に進めて欲しい。
地域・世の中・慣習を含め、まずは男女間の共同・協力・協調・助け合い・かばい合いの精神が必要。男は外で仕事、女は家庭内で家事仕事は、共に昔の考え、行いであり、これからの現代社会は共同な男女間で未来を明るく楽しく過ごして欲しい。(男性、50 代)

女性よりも男性目線の問いが少ない時点で、この調査自体平等ではない。質問の内容がひと昔前のように感じる。今は、30 代以下は女性がやって当たり前だと思わない。行事も仕事も地域活動、家庭内のことなど、当人が話し合っ出来る方がやれば良い。男性は家庭内のことをやっていない、やらなくて良いというような見方のできる質問内容だと思った。
他市はコロナ禍の出産に市独自の補助金が出る。東御市はトップダウンで、男女平等ではない。男性でも女性でも子育てをしながら心豊かに田舎暮らしができるように政策を考えてほしい。(女性、30 代)

男女共同参画をこの意識調査で初めて知った。若い人たちや引っ越してきた人たちは知らない人が多いと思う。手紙などで知らせた方が支援を受けやすく、種類もわかりやすいと思う。
(女性、30 代)

子の入学式など出席している父親は少数だが、その時の出席者の中で役員を決められてしまった。
役場からの郵便物は、世帯主宛て(男性)に届くものが多いが、いつも世帯主ではなく、配偶者(女性)宛てにも届くと平等を感じると思う。
区の行事は世帯主の役目とされる。男は生活費を運ぶのが当たり前。男女共同参画をどんどん進め、女性が世に出ることは非常に良いことなので大いに賛成。(男性、70 歳以上)

普段働いている職場でも、男女平等という言葉は見聞きしているものの、実際の所は男性優遇の環境だと感じている。女性が出産・子育てに安心して取り組めるような職場環境を作ることが急務ではないか。いち早く日本が本当の意味での男女平等を達成することは、未来を担う子どもたちにも良い影響を与えていける。男女が性別関係なく共に生き方を理解し支え合って生きていくことができる社会に少しでも早くなることを願う。(男性、20 代)

実際に出産、育児、出産と続いた時は就職が難しい。土日も出勤しなくてはならないこともあった。

育児の途中で就職するのが一番良いが、子どもが体が弱い場合等は大変難しい。その上お金もかかる。休日に子どもに寂しい思いをさせたくないで今でも就職はしていない。

男女共同参画については全くわかりません。実際どんな内容で動いているのですか？講演会や勉強会は意味がありますか？それぞれみんなが出ないと意味がない気がする

(女性、40代)

共働きなのに、女性が子育て、地域・学校・保育園の行事やPTA参加をしなければいけない。夫の収入で生活や老後を安心して暮らせる世の中になれば、男性に強いる必要も、女性が気持ちよく参加することもできる。子育ては親の責任であるが、その他(行事への参加や役員の仕事など)は役所や公務員(教師含む)の方にやっていただきたい。親は生活のために収入を得ることで手一杯なので、地域のつながりも大切だと思うが、仕事を休んでまでやらなければいけない活動を減らしてほしい。(女性、30代)

地域の活動や区長などを見ても男性のみ。まずは足元から。(女性、60代)

このアンケートに答えていると、男性でも悩んでいる人は多くいるのではと思いました。時代は変わってきており、ついていけない人、いけない人と家庭内の慣習など、地域でもあると思われます。できれば声を上げずにフタをしておきたいことなのかもしれません。安心して相談できる場所に心を開いて話せる人がいるということだけでも困っている人には居場所ができるのではないかな。皆の目に付く場所等にポスターを貼ったり、公民館・分館等にも問題を投げかけて少しずつ前に進んでいけたら良いと思う。(女性、60代)

男性には男性の役割、女性には女性の役割が古来からあると思うので、過剰なまでに男女平等にこだわるのはどうかと思う。(男性、50代)

小学生・中学生・高校生への段階的啓発活動はできているのか。(男性、70歳以上)

役員だからでているだけ、議事内容、決まり事。記録なしの人が増えている。

今年やらなければならないことを一つでもやれば良いが、来年へ申し送る人が多い。

気が付かず、また見て見ぬ人が増えている。(男性、60代)

地域の活動に積極的に参加して平等に対応して下さい。(男性、50代)

昨年転入してきたが、とても住みやすく近所の方も良い方ばかりで東御市が好きです。以前の居住地で、子どもが病気になると母親は休まなくてはいけなかったり、親に頼まなくてはいけなかったり、とても言いづらかったり、嫌味を言われたことあがある。せっかく入社できても責任ある立場にも立てないことは子どものことであるのが現実。でも、子どもが病気になった時に預かってもらえるシステムがあった。東御市でもそのようなシステムがあると有り難い。母親たちが、子どものことで仕事を急に休んで申し訳なさそうにしているのが気の毒に思う。

(女性、40代)

ある程度男女の役割について固定概念があっても良いと思っているが、～すべき、～して当たり前という考え方を改めることができるように、行政では好事例を挙げて紹介したり持続的な活動を行ってほしい。(女性 30代)

一人一人の理解や考え方で大きく変わっていくことなので、これからに期待したい。(女性、60代)

理解はしても、実際に行動することは難しいと思われる。(男性、70代)

女性が社会で活躍するためには、それを支える社会と家庭の理解と支援が不可欠ですが、特に子育て世代女性には、社会で活躍したくてもしにくくなるような、冷ややかな反応を示す人々がいるように感じることがあります。仕事もよいが、今はもっと自分の子どものことを考えないと、など。女性の活躍＝子どもは犠牲に、という構造を変えていくことが、今後の課題ではないでしょうか。(女性、40代)

DVIに関しては、男→女だけでなく、逆の場合もありうる。また児童虐待の問題も同じように、する人の子供から大人に至るまでの時期の環境に大きく影響を受けているところが多いとも感じている。啓発やら活動やら講演会などによって身についた性格を変えることは非常に難しいことと思う。世界の国々の慣習などで日本と違い見習うべきところもいろいろあるかと思う。

(男性、60代)

地域の自治会の仕事が多すぎ、負担になっており、老人・女子ができる範囲のものに軽減する必要がある。例えば、区民掃除は月に一度(年 10回)参加、出不足金は 1000 円であり、とても負担で全部参加することは困難。役員になると飲み会や祭りの仕事もあり、男性主導の力仕事や夜遅くまでの宴会があり、とても嫌な雰囲気になります。男は自治会に口を出さず、もっと市役所でも指導してもらい、平等な自治会運営となるよう見直していただきたい。まずは身近な足元から改善すべき。(女性、50代)

男と女はもともと作りも DNA も違います。「個人」もそれぞれ。自分の意見が全て正しいわけではなく、人の意見も聞ける「耳」や他人を思いやる「想像力」。そういうものを育てていける社会や教育を目指して欲しいと思います。(女性、40 代)

今のままで悪く無いと思う(男性、60 代)

ある程度時間がかかると思います。出来る事、出来得る事を少しずつ進めて頂きたいと思います。(男性、50 代)

制度も悪いが 女性の向上心も必要です(男性、40 代)

自治会のトップの役職が男性に偏りすぎている 女性がなれる雰囲気環境づくりを行政は推し進めるべきだ PTA は会長のみ男性他の役員は全て女性という従来の構成を強制的に見直すべきだ 竹の葉は家の代表が男性であるという習慣が根強いために男性ばかりになるこの考え方を改めるように環境作りを行ってほしい 婦人部という名称や赤十字の役割は女性という習慣もできるだけ早く取りやめにしてほしい(男性、50 代)

東御市では、啓発や推進を進めるべく、努力したり、機会があるごとに発信してきていると感じる。一方で、どの程度達成できているかということについては感じ方もさまざまであり、なかなか見えにくいようにもおもう。(女性、50 代)

近隣市町村と施策を合わせるのも大事ですが東御市には何が足りないのか、特色を出して独自の考えがあるといいなと思います。(男性、30 代)